

京都大学生態学研究センター
業績目録

Publication List

Center for Ecological Research, Kyoto University

第4巻 (1994年)

1995 (平成7) 年5月

Volume 4 (1994)

May, 1995

京都大学

生態学研究センター・ニュース No. 29

はじめに

多くの方々のご支援を受けて、京大生態学研究センターは5年目を迎えます。ご承知のように、とりあえず10年時限の機関として出発していますので、いわば道の半ばに差しかけたところ です。

さて、当センターのスタッフ・研修員・大学院学生、それに協力研究員の方々による、1994年の業績目録を、ここにお届けします。

今回からは、書かれた作品のリストのほかに、共同研究や講演その他の活動についても記載することにしました。「そのほうが、<論文の公表と共同研究の推進と普及活動の3つを、ともに行うこと>という、川那部の要請に合致するではないか」との、スタッフの一部の人々の意見を、受け入れたかたちになります。ただし、何をもって講演その他とするかといった選択については、従来の「書かれた業績」同様、各自の判断によっています。

従来のもと同様に、ご意見・ご批判をお願いします。

生態学研究センター長 川那部浩哉

目次

活動報告	1
共同研究	5
講演活動	7
著作リストの収録内容と凡例	10

A. Staffs スタッフ

ABE, Takuya 安部琢哉	11
FUJITA, Noboru 藤田 昇	11
HIGASHI, Masahiko 東正彦	11
INOUE, Tamiji 井上民二	12
KAWANABE, Hiroya 川那部浩哉	15
KOHYAMA, Takashi 甲山隆司	17
SHIMIZU, Isamu 清水 勇	17
SUGIMOTO, Atsuko 杉本敦子	17
TABATA, Hideo 田端英雄	18
TEZUKA, Yasuhiko 手塚泰彦	18
WADA, Eitaro 和田英太郎	18
YUMA, Masahide 遊磨正秀	19
YUMOTO, Takakazu 湯本貴和	20

B. Research Students and Fellows 大学院生・研修員

HANBA, Yuko 半場祐子	25
KAMEDA, Kayoko 亀田佳代子	25
MATSUI, Kiyoshi 松井 淳	25
MATSUBARA, Takeshi 松原健司	25
MIYAJIMA, Toshihiro 宮島利宏	26
NAGAMITSU, Teruyosh 永光輝義	26
TAYASU, Ichirou 陀安一郎	27

C. Guest Scientists 協力研究員

HANAZATO, Takayuki 花里孝幸	28
HINO, Shuji 日野修次	28
INUBUSHI, Kazuyuki 犬伏和之	29
IWAKUMA, Toshio 岩熊敏夫	29
IWASA, Yoh 巖佐庸	30
KAWABATA, Keiichi 川幡佳一	31
KIMURA, Masato 木村真人	31
KOHDA, Masanori 幸田正典	33
KOIZUMI, Hiroshi 小泉博	33
KONDO, Takaki 近藤高貴	34
MORI, Toyohiko 森豊彦	34
MORINO, Hiroshi 森野浩	35
MUKAI, Hiroshi 向井宏	35
NAKAGOSHI, Nobukazu 中越信和	36
NAGANO, Yoshiharu 長野義春	37
NAKASHIZUKA, Tohru 中静透	37
NISHIMURA, Noboru 西村登	38
OHTAKA, Akifumi 大高明史	38
ONOHAMA, Keiichi 小野山敬一	38
SAIGUSA, Masayuki 三枝誠行	39
SAKAMOTO, Kazunori 坂本一憲	39
SAKAMOTO, Wataru 坂本巨	39
SUGIYAMA, Yukimaru 杉山幸丸	40
SWEDA, Tatsuhiko 末田達彦	40
TAKAMURA, Noriko 高村典子	41
TODA, Hideshige 戸田任重	41
YAMAMOTO, Shin-ichi 山本進一	42
YOH, Muneoki 楊宗興	42
YOSHIOKA, Takahito 吉岡崇仁	43
シンポジウム、セミナー、研究会等	44

活動報告

生態学研究センターでは、1994年度に次のような共同利用事業およびセンター運営の活動を行いました（括弧内は当該報告が掲載されているセンターニュース）。

1．共同研究

1994年度にセンターが行った共同研究は25件であった。その内訳は、1991年度からの文部省科学研究費重点領域研究「地球共生系：生物の多種共存を促進する相互作用機構」（代表者：川那部浩哉）、1992年度から開始したIGBP（地球圏 - 生物圏国際共同研究計画）の一環としての文部省国際共同研究等経費「水体における物質循環と気候」（代表者：手塚泰彦）のほか、文部省科学研究費国際学術研究費4件、同国際共同研究1件、同総合研究9件、同一般研究3件、同試験研究1件、その他の助成金2件である（本号5、6ページ）。

2．協力研究員

センターとしての研究活動をより推進するために、学内外の研究者に協力研究員（Guest Scientist）を委嘱している（任期2年間）。現在192名が任命されている（センターニュースNo.22にリスト）。

3．公募研究会

1994年度公募研究会は、以下のように研究会8件、セミナー企画2件、実習企画2件が実施され、それぞれ活発な議論が展開した。

研究会：延べ14日600人の参加

- (1) 微生物生態学への分子生物学的アプローチ、代表者：小暮一啓（東京大学）、実施期日（場所）：平成7年2月9～10日（生態研センター）参加実人数12名、延べ人数24名（センターニュースNo.27）
- (2) 冬眠する哺乳類の生態学的機能と生理的機構の統一的理解、代表者：川道武男（大阪市立大学）、実施期日（場所）：平成6年11月26日（芝青年会館）参加実人数65名、延べ人数65名（センターニュースNo.26）
- (3) 森林群集の更新動態 - 研究の現状と将来展望、代表者：山本新一（岡山大学）、実施期日（場所）平成7年3月16日（京大会館）参加実人数150名、延べ人数150名（センターニュースNo.28）
- (4) 日本産野生植物の繁殖様式に関する基礎的研究 - 性型システムの進化、代表者：岡崎純子（大阪教育大学）、実施期日（場所）：平成6年12月15～16日（楽友会館）参加実人数37名、延べ人数74名（センターニュースNo.27）

- (5) 極東寒帯生態系研究の展望 - 21世紀のパラダイムを拓く、代表者：和田英太郎（京大生態研センター）、実施期日（場所）：平成6年11月23～25日（京大会館）参加実人数50名、延べ人数150名（センターニュースNo.26）
- (6) 林床から森林動態を考える（2） - ササの生活史をいかに解明すべきか、代表者：大島康行（早稲田大学）、実施期日（場所）：平成6年11月12～13日（楽友会館）参加実人数30名、延べ人数60名（センターニュースNo.26）
- (7) 河川の微地形と生物群集の動的関係に関する研究会、代表者：谷田一三（大阪府立大学）、実施期日（場所）：平成6年11月18～19日（京都府立ゼミナールハウス）参加実人数32名、延べ人数64名（センターニュースNo.26）
- (8) 生物多様性・物質循環・環境変遷を考える - バイカル湖での融合をめざして、代表者：吉岡崇仁（名古屋大学）、実施期日（場所）：平成6年11月22日（楽友会館）参加実人数13名、延べ人数13名（センターニュースNo.26）

セミナー：延べ9日131人

- (1) 第3回国際夏期セミナー『地球環境と生態学』、代表者：田端英雄（京大生態研センター）、実施期日（場所）：平成6年7月12～15日（京大生態研センター）講師20名、受講者（海外）4名（センターニュースNo.25）
- (2) 『生態学における理論・実証インターフェイス』、代表者：東正彦（京大生態研センター）、実施期日（場所）：平成7年1月9～13日（京大生態研センター）講師6名、受講者23名（センターニュースNo.27）

実習：延べ8日32人

- (1) 「送粉生態学の基礎テクニク実習」、代表者：湯本貴和（神戸大学理学部）、実施期日（場所）：平成6年7月19～22日（兵庫県氷ノ山＜ブナ自然林＞）講師1名、受講者4名（センターニュースNo.25）
- (2) 「安定同位体実習」、代表者：和田英太郎（京大生態研センター）、実施期日（場所）：随時（京大生態研センター）講師1名、受講者4名（センターニュースNo.25）

4．国際および国内シンポジウム

- (1) 『第9回「大学と科学」シンポジウム地球共生系 多様な生物の共存する仕組み』
重点領域研究の成果のまとめとして、1994年1月28～29日、有楽町朝日ホールで開催された。2日間で延べ1600名の参加があった。（センターニュースNo.28）
- (2) 『第5回京都国際セミナー 生態学からみた安定社会：里山とその自然の持続的利用』
京都府京北町府立ゼミナールハウスにおいて、1994年12月9日～11日の3日間行われた。延べ180名の参加があった。

5．公開講演会

当センターでは1994年4月9日に創立3周年の記念講演会を大津市市民会館で開催した。「生命の多様性を求めて」という総合テーマで、「生物の多様性をもたらす自然のしくみ」（川那部浩哉：京大生態学研究センター）、「文化の多様性と身近な生き物」（嘉田由紀子：琵琶湖博物館開設準備室）、「生命誌から見た多様性」（中村桂子：生命誌館）の三題の講演をしていただいた。約130名の参加者があった。（センターニュースNo.22）

6. 生態研セミナー

このセミナーは生態学研究センターの共通セミナーとして定期的開催。1994年度は、前半は4月から7月まで7回開催（オーガナイザー：甲山、成田）、後半は9月から3月まで13回（オーガナイザー：東）、計20回開催した。毎月2回（原則として第1、第3金曜日に）、毎回2人に1時間ずつ（発表50分、議論10分）話題を提供していただいた。会場も、京大理学部の新館（2号館）に移した。センター内からは12人、海外から6人の講演者があった。参加人数は各回30から60人程度（ただし、Ernst Mayr氏のときの約250人など特別の場合を除く）あった。（文責：東正彦）

7. ニュースレターの発行

生態学研究センターの活動を全国の生態学に興味をもたれている方々に知っていただくため、隔月にニュースレターを発行した。1994年度は第21号（4月20日、生態学研究センター業績目録の特集号、40頁）、第22号（4月20日、22頁）、特別号No.1『生物多様性の創出・維持機構の解明にむけて 取り組みの現状と未来』（4月、160頁）、第23号（6月20日、12頁）、第24号（8月20日、6頁）、第25号（10月20日、14頁）、第26号（12月20日、10頁）、第27号（2月20日、12頁）を発行した。現在、個人757件、機関286件、計1043件に送付されている。ニュースレターには生態学研究センターの活動のみならず、広く生態学一般の情報を提供している。

8. 共同利用施設の充実

- (1) 大型機器分析：安定同位体比精密測定用質量分析計システム（GC/C/IRMS）では自動元素分析装置（カルロ・エルバ1108型、オートサンプラー付）を購入した。スペースの問題のため、本分析装置は京都分室に設置し、通常元素分析計として使用している。平成六年度の共同利用は、三重大学生物資源学研究科、北海道大学水産学部（2件）、名古屋大学農学部（3件）であった。9月と10月に公募実習を行い、三重大学及び京大内から4名の参加があった。本年度はGC/C/IRMSの故障が多く修理に時間を要したが、一応のオーバーホールは終了したところである。
- (2) 生態情報アクセス・システム：生態学研究センター内はマッキントッシュ約30台のアップルトークで連結され、『京都大学生態学研究センターニュース』などの編集もすべて、このシステムで行われている。また、旧臨湖実験所より移管された標本のデータベース化の作業を進めている（センターニュースNo.23）。本年度もセンターニュースなど、センターの情報にパソコン通信でアクセスできるBBSを運営している。
- (3) 船の利用：当センターの観測調査船「はず」は、センターの調査・観測だけでなく、琵琶湖で調査や実習をされる方々にも共同利用されている。1994年度の共同利用は、実習3件3日（延べ25名）、観測調査26件28日（延べ53名）であった。このほか当センターが実施している毎月の定期観測時12件12日の同乗者（延べ33名）やセンター教官との共同研究による利用もあった（合計41件43日延べ111名）。

9 . 協議員会、運営委員会の開催

1994年

- 3月3日 運営委員会（議題：平成7年度概算要求について、教官人事について、他1件）
（センターニュースNo.22）
- 3月14日 協議員会（議題：平成7年度概算要求について、教官人事について、他1件）
（センターニュースNo.22）
- 5月23日 運営委員会（議題：平成7年度概算要求について、教官人事について、他1件）、
協議員会（議題：平成7年度概算要求について、教官人事について、協力研究員の委嘱について、他1件）（センターニュースNo.23）
- 9月26日 運営委員（議題：教官人事について）、協議員会（議題：教官人事について）
（センターニュースNo.25）

1995年

- 1月13日 運営委員会（議題：教官人事について、他1件）、協議員会（議題：教官人事について、平成7年度研修員の受け入れについて、他1件）（センターニュースNo.27）
- 2月15日 運営委員会（議題：教官人事について）、協議員会（議題：教官人事について、次期センター長の選出について）（センターニュースNo.27）
- 3月17日 運営委員会（議題：教官人事について、平成7年度概算要求について、COE関連について、他4件）（センターニュースNo.28）
- 3月27日 協議員会（議題：教官人事について、平成7年度概算要求とCOEについて、他2件）（センターニュースNo.28）

共同研究

1994年度及び1995年度すでに実施が決定している文部省科学研究費などによるセンタースタッフが関係した共同研究をまとめました。研究者は代表者を筆頭とし、センタースタッフは斜体文字で示し、センタースタッフ以外の分担研究者については省略してあります。

川那部・安部・井上・東ほか

「地球共生系：生物の多種共存を促進する相互作用機構」（総括班）

1991-94 文部省科学研究費重点領域研究

藤井宏一（筑波大・生物学）・*安部*ほか

「種間間接作用機構の操作実験による解析」（「地球共生系」A02班）

1991-94 文部省科学研究費重点領域研究

西平守孝（東北大・理）・*川那部・井上・東*ほか

「生物群集における種間関係の可塑性と多種共存機構」（「地球共生系」A03班）

1991-94 文部省科学研究費重点領域研究

*手塚・和田・中西・安部・遊磨・成田・杉本・田端・甲山・藤田・川那部*ほか

「水体における物質循環と気候」

1992-96 文部省国際共同研究等経費（IGBP経費）

高井康雄（東京農大・総研）・*和田・杉本・井上*ほか

「アジア地域における陸域生態系の変動過程の研究」

1990-94 文部省科学研究費創成的基礎研究（新プロ）

柳沢康信（愛媛大・理）・*川那部*ほか

「アフリカタンガニイカ湖の魚類を中心とする生物群集の多様性に関する研究」

1992-94 文部省科学研究費国際学術研究

*川那部・遊磨・中西・成田*ほか

「タンガニイカ湖・琵琶湖両生態系の多様性・弾力性と環境変動」

1992-94 文部省科学研究費国際学術研究

*安部・東・杉本*ほか

「シロアリ - 共生者システム：熱帯陸上生物群集における作用機構」

1993-94 文部省科学研究費国際学術研究

*井上・湯本*ほか

「東南アジア熱帯雨林の林冠構造と生物多様性の研究」

1994-96 文部省科学研究費国際学術研究

奥田節夫（岡山理科大・理）・*和田* ほか

「世界最大の淡水湖（バイカル湖）における環境 - 物質循環 - 生態系の相互作用に関する研究」

1992-94 文部省科学研究費国際共同研究

*安部・東・杉本*ほか

「バイオリサイクル - その基本的機構とバリエーション」

1992-94 文部省科学研究費総合研究（A）

山本進一（岡山大・農）・*甲山* ほか

「森林群集の更新動態と種多様性維持機構」

1992-94 文部省科学研究費総合研究（A）

- 川那部・和田・安部・井上・中西・甲山・遊磨・東・湯本ほか
「生物多様性維持・利用のための保全地域理論の探求」
1993-95 文部省科学研究費総合研究（A）
- 大沢雅彦（千葉大・理）・甲山ほか
「屋久島における気候変動と森林系のレスポンス」
1994-95 文部省科学研究費総合研究（A）
- 中西・和田・東ほか
「琵琶湖における活性中心としての水温躍層 - 生物・化学・物理相互作用」
1994-96 文部省科学研究費総合研究（A）
- 川那部・和田・東・井上・田端・安部ほか
「生態科学研究を推進するための新しいタイプのネットワーク構想」
1994 文部省科学研究費総合研究（B）
- 和田・川那部・東・安部・井上・遊磨・中西ほか
「生物多様性の創出・維持機構の解明」
1994 文部省科学研究費総合研究（B）
- 石渡良志（東京都立大・理）・和田ほか
「有機・同位体地球化学の新展開：地球炭素循環像の解明」
1994 文部省科学研究費総合研究（B）
- 沖野外輝夫（信州大・理）・和田ほか
「バイカル湖・集水域生態系における生物・化学過程と物質輸送」
1994 文部省科学研究費総合研究（B）
- 和田・安部・中西・清水・成田ほか
「安定同位体による生物圏の化学構造の解明」
1993-95 文部省科学研究費一般研究（A）
- 甲山ほか
「内部構造をもつ生物集団のダイナミクスと群集形成」
1993-94 文部省科学研究費一般研究（B）
- 遊磨ほか
「琵琶湖における侵入種と在来種の生態的相互作用」
1994 文部省科学研究費一般研究（C）
- 吉岡崇仁（名大・大気水圏研）・和田ほか
「不均一系微小粒子の生物活性測定システムの開発」
1994 文部省科学研究費試験研究（B）
- 成田ほか
「琵琶湖とその集水域における底生動物の基礎的調査」
1992-94 琵琶湖博物館開設準備室委託調査
- 渡辺直（香川大・教育）・遊磨ほか
「河川の生物群集と物理的環境の関係」
1994-95 京都大学水資源研究センタープロジェクト研究

講演活動

1994年度センターのスタッフが行った講演活動の一部のリストです。これ以外にも多数の講演が行われました。

- 東正彦・山村則男（1994/3/31）生産者－分解者マッチングによる生態系発達メカニズム．日本生態学会第41回大会，福岡．
- 西野麻知子・大高明史・成田哲也（1994/9/20）琵琶湖における水生貧毛類の分布．日本陸水学会第59回大会，八王子．
- 清水勇（1994/6/2）アユの眼．牛窓光生物学シンポジウム，岡山．
- Shimizu, I.（1994/7/13）Ecophysiology of animals: photoperiodism of insects. 3rd International Summer Seminar of CER, Kyoto.
- 清水勇（1994/10/2）カイコの羽化リズム．第1回日本時間生物学会，東京．
- 坂本克彦・浅井理人・清水勇（1994/10/2）カロチノイド欠乏カイコのふ化リズムとふ化時期決定機構のモデル．第1回日本時間生物学会，東京．
- 清水勇・F. G. Barth（1994/10/6）熱帯性クモ(Cupiennius salei)の求愛振動信号と温度環境．第65回日本動物学会，名古屋．
- 市川敏夫・清水勇（1994/10/8）カイコの休眠ホルモン分泌候補細胞の形態．第65回日本動物学会，名古屋．
- 田端英雄（1994/12/10）里山とその将来．第6回京都国際セミナー「安定社会－里山とその自然の持続的利用」
- Tezuka, Y.（1994/7/15）Limnology of Lake Biwa. 3rd Internat. Summer Seminar Kyoto Pref. Seminar House, Keihoku-sho, Kyoto.
- 手塚泰彦（1994/9/28）琵琶湖の自然．宇治市民講座，宇治市．
- 手塚泰彦（1994/11/5）富栄養化を視点とした琵琶湖の陸水学．BITEKシンポジウム，大津．
- Tezuka, Y.（1994/11/23）Some Limnological aspects of Lake Biwa. Internat. Workshop "New Scope on Boreal Ecosystems in East Siberia", Kyoto.
- 遊磨正秀（1994/2/10-13）第5回京都国際セミナー「生態学からみた安定社会－安定と攪乱淡水域の生物群集から－」．オーガナイザー，京都府京北町．
- 遊磨正秀（1994/3/12）琵琶湖博物館に期待すること．琵琶湖博物館シンポジウム パネルディスカッション コーディネーター，草津．
- 遊磨正秀（1994/5/21）生態学の立場からみた水汚染問題．環境社会学会第9回セミナー，彦根市．
- 遊磨正秀（1994/5/28）河川と生物環境－人為環境の中の自然－．川と自然を考えるシンポジウム，大津．
- 遊磨正秀（1994/6/3）ホタルの生態について．京都府生物教育会，京都．
- 遊磨正秀（1994/6/10）ホタルの生態について．琵琶湖博物館野外観察会，滋賀県今津町．
- 遊磨正秀（1994/6/11）ホタルの水 人の水．環境文化セミナー，滋賀県蒲生町．
- 遊磨正秀（1994/6/12）ホタル 万葉～現在．蛸ネットワーク，八日市市．
- 遊磨正秀（1994/6/15）ホタルの生態．講演，彦根市．
- 遊磨正秀（1994/6/24）ホタルの暮らし．講演，滋賀県朽木村．
- 遊磨正秀（1994/6/28）ホタルを通して水環境を考える．講演，鳥取県羽須美村．
- 遊磨正秀（1994/7/9）今、私たちにとって必要な自然とは？おおつ環境塾，大津市．

- 遊磨正秀 (1994/9/16) ホタルを通じて身近な自然環境を考える。日本ホタルの会シンポジウム, 大阪市。
- 遊磨正秀 (1994/11/12) 身近な水辺の自然と遊び。講演, 滋賀県竜王町。
- 遊磨正秀 (1994/11/18-19) 川底の構造と魚の行動様式。河川の微地形と生物群集の動的関係に関するワークショップ, 京都府京北町。
- 遊磨正秀 (1995/1/21) 環境調査と博物館づくり。琵琶湖博物館シンポジウム, 滋賀県野洲町。
- 遊磨正秀 (1995/2/21) アフリカの湖、日本の湖、その巨大湖をめぐる生物たち。河川湖沼浄化講演会, 長野県大町市。
- 遊磨正秀 (1995/3/25-26) 地域の自然観とその形成。教員養成大学研究集会「理科教育の現状と課題」, 大阪府柏原市。
- 湯本貴和 (1994/3/29) 動物-植物相互作用系の研究; そのリアリズム追求について。第41回日本生態学会大会, 自由集会「動物と植物の相互作用」, 福岡。
- 湯本貴和・西邨顕達・木村光伸・Marcela Santa-Maria (1994/6/25) アマゾン上流域・熱帯林における動物散布: とくに散布距離に関して。第4回日本熱帯生態学会大会, つくば。
- 湯本貴和 (1994/6/26) サラワク低地フタバガキ林のフェノロジーと植物・動物相互作用。第4回日本熱帯生態学会大会, 公開シンポジウム「熱帯林の樹上に暮らす生物たち」, つくば。
- 湯本貴和 (1994/10/9) 生物多様性からみた屋久島。第48回日本人類学会日本民族学会連合大会, シンポジウム「自然との共生とは何か: 屋久島研究の現状と課題」, 鹿児島。
- Yumoto, T. and Inoue, T. (1994/11/10) Plant Phenology and plant-animal interactions observed in a tropical lowland forest in Sarawak, Malaysia. First International Canopy Conference, Sarasota.
- 和田英太郎 (1994/1/18) 熱帯林のガス放出: 安定同位体比を中心に。第3回国連大学地球環境フォーラム - 地球温暖化と熱帯林の変貌, 東京。
- Wada, E., Vijarnsorn, P., Yoshioka, N., Sugimoto, A., Ueda, S., Katase, T., Boonprakup, S., Miyazima, T., Kimura, M. and Jedrysek, M. O. (1994/1/20-22) Radiatively active gases in tropical swamp forest and wetland soils I: Background and outline of methodology. Int'l Symposium on 'Tropical Rain Forest in a Greenhouse.' Matsuyama, Ehime.
- Yoshida, N., Vijarnsorn, P., Ueda, S., Sugimoto, A., Yoshioka, T. and Wada, E. (1994/1/20-22) Radiatively active gases in tropical forest II: Dynamics and framework with emphasis on swamp forest in Narathiwat, Thailand.
- Vijarnsorn, P., Boonprakup, S., Sugimoto, A., Ueda, S., Yoshioka, T., Yoshida, N. and Wada, E. (1994/1/20-22) Radiatively active gases in tropical forest III: Seasonal variations in 1993 in Narathiwat, Thailand.
- Wada, E. (1994/5/25-27) Methane emission from wetland ecosystems - isotope evidence. Isotope workshop II. Kraiz Castle, Poland.
- Wada, E. (1994/5/25-27) ^{15}N - ^{13}C maps of several aquatic ecosystems. (Poster). Isotope workshops II. Kraiz Castle, Poland.
- Jedrysek, M. O., Halas, S., Wada, E., Sokotowskii, K., Filus, M., Takai, Y. and Radwan, S. (1994/5/25-27) Carbon isotope evidence for seasonal and spatial variations of methanogenesis during early diagenesis in freshwater lake sediment, Poland. Isotope Workshop II. Kraiz Castle, Poland.
- Wada, E. (1994/11/23-25) Current status of DIWPA (Diversitas Western Pacific and Asia). Int'l

- Workshop on 'Boreal Ecosystems.' Kyoto.
- 和田英太郎 (1994/7/13) 微量同位体分析への期待 . パネル討論会「最新の微量同位体分析の開発と応用」 . 第31回理工学における同位元素発表会 , 東京 .
- 宮島利宏・山田佳裕・半場祐子・吉井浩一・和田英太郎 (1994/7/13) GC/C/IRMSによる湖水中全炭酸の炭素同位体比の測定 . 第31回理工学における同位元素発表会 , 東京 .
- 山田佳裕・和田英太郎 (1994/7/13) 天然安定同位体比から見た琵琶湖生態系の物質循環 . 第31回理工学における同位元素発表会 , 東京 .
- 和田英太郎 (1994/7/14) 各種生態系 (タイ熱帯林、シベリア) の研究における安定同位体の利用 . GC/C/IRMSセミナー , 東京 .
- 吉井浩一・Melnik, N. G. ・和田英太郎 (1994/9) バイカル湖における安定同位体比を用いた食物網の解析 . 日本陸水学会年会 , 東京 .
- 山田佳裕・和田英太郎 (1994/9) 淀川水系における天然安定同位体比から見た琵琶湖の特徴 . 日本陸水学会 , 東京 .
- 和田英太郎・大城香 (1994/3) 安定同位体から見た藻類の多様性 . 日本生態学会第41回大会 , 福岡 .
- 和田英太郎 (1994/7/22) 生物多様性の研究の現状 . 三菱化成生命科学研究所コロキウム , 東京 .
- Wada, E. (1994/8/30-31) Overview of the present studies in Narathiwat. The Int'l Workshop on Global Environmental Studies on Greenhouse Gas Emission and Tropical Peat Swamp Forests in Southeast Asia. Bangkok, Thailand
- Jedrysek, M. O., Wada, E., Halas, S. and Takai, Y. (1994/8/30-31) Factors governing mechanism of methanogenesis in lakes: C isotope study. *ibid.*
- Jedrysek, M. O., Kral, T. E. Wada, E., Pazdus, A., Halas, S., Skrzyptk, G., Takai, Y. and Vijarnsorn., P. (1994/8/30-31) Preliminary carbon and sulfur isotope studies of depth core profiles of peat from Thailand and Poland. *ibid.*
- Vijarnsorn, P., Boonprakut, S., Miyazima, T., Sugimoto, A. and Wada, E. (1994/8/30-31) Characteristics of the peat swamps and seasonal variations of the gas emission in Narathiwat. *ibid.*
- Kanatharana, P., Pongthumrong, V., Boontanon, N., Ueda, S. and Wada, E. (1994/8/30-31) Distribution of nitrous oxide (N₂O) in the peat swamp and its surrounding areas. *ibid.*
- Yoshii, K., Wada, E., Kawai, T., Ueda, S., Timoshkin, O. A., Melnik, N.G., Guselnikova, N. E. and Gorbunova, L. (1994/5/11-17) Preliminary studies of the hydrobiogeochemistry and species composition of plankton in Lake Baikal with emphasis on stable isotope ratios. Int'l Symposium on 'Baikal as a Natural Laboratory for Global Change. Irkutsk, Russia.
- 和田英太郎 (1994/12/12-14) ナラチワ湿性熱帯林5年間の研究のまとめ . 東京 .

著作リストの収録内容と凡例

1. 第4巻著作リストには生態学研究センターの構成員（常勤スタッフ，大学院生および研修員）および協力研究員が，1994（平成6）年（「年度」ではない）に発表した著作を収録します．印刷中のものも，発表年が1994年以降になるものは収録しません．1994年以降に加わった新構成員については，1994年までの全著作を挙げます．また，第3巻までの遺漏についても，遡って収録しています．
2. 配列は，(A) スタッフ, (B) 大学院生および研修員, (C) 協力研究員のそれぞれについて，名前のアルファベット順です．(A), (B)については，各人ごとに昨年の目録（センター・ニュース No. 7, 14, 21）に引きつづいて発表年代順のナンバーをふってあります．協力研究員については，各巻ごとに1)からはじまるナンバーをふります．著作の種別（原著論文，総説，解説記事，報告書など）については区別しません．
3. 協力研究員については，著作リストに載せる・載せないは，各研究員の自由意志とし，「載せてもよい」と判断された方の，そして判断された著作だけを収録しています．ご協力ありがとうございました．
4. 印刷の形式は欧文・和文にかかわらず以下の3通りとしました：
 - (a) 定期刊行学術誌掲載の論文など
ナバ -) 著者名{; 著者名; ...} (刊行年) 論文タイトル. 定期刊行物名 巻: 始ページ - 終ページ.
[キワード]
 - (b) 単行本（含翻訳）など
ナバ -) 著者名{; 著者名; ...} (刊行年) 著書タイトル. 総ページ pp. 出版社, 所在地. [キワード]
 - (c) 単行本のなかに掲載の論文など
ナバ -) 著者名{; 著者名; ...} (刊行年) 論文タイトル. In: 単行本名. (ed. by 編者名{; ...}) pp.
始ページ - 終ページ. 出版社, 所在地. [キワード]

A. Staffs スタッフ

ABE, Takuya 安部琢哉

- 107) Tayasu, I.; Sugimoto, A.; Wada, E.; Abe, T. (1994) Xylophagous termites depending on atmospheric nitrogen. *Naturwissenschaften* 81: 229-231.
- 108) 安部琢哉 (1994) 生物多様性の生態学をめざして. *日生態会誌* 44: 197-200.
- 109) 安部琢哉 (1994) キノコシロアリのくらし. *アフリカ* 10: 14-17.

FUJITA, Noboru 藤田 昇

- 83) 藤田昇; 遠藤 彰 (1994) 深泥池の不思議. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 20-29. 京都新聞社, 京都.
- 84) 藤田昇 (1994) 変容に耐えて - 多い氷期の生き残り. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 32-33. 京都新聞社, 京都.
- 85) 藤田昇 (1994) ミズゴケ - 高層湿原に似た環境. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 38-39. 京都新聞社, 京都.
- 86) 藤田昇 (1994) ミズゴケと水質 - 池と集水域の水質の診断. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 48-49. 京都新聞社, 京都.
- 87) 藤田昇 (1994) イヌノハナヒゲ - 谷地坊主をつくる植物. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 72-73. 京都新聞社, 京都.
- 88) 藤田昇 (1994) ホシクサの仲間 - 互いに異なる生育環境. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 83-84. 京都新聞社, 京都.
- 89) 蒔田明史; 紺野康夫; 藤田昇; 高田研一; 浜端悦治 (1993) 一斉開花枯死後16年間のイブキザサ実生個体群の動態. *Bamboo Journal* 11: 1-9.

HIGASHI, Masahiko 東正彦

- 54) Higashi, M.; Yamamura, N. (1994) Resolution of evolutionary conflict: a general theory and its applications. *Researches on Population Ecology* 36: 15-22.

- 131) Inoue, T. (1993) Canopy of tropical rainforests as the source of biodiversity. International Symposium on Ecological Perspective of Biodiversity. pp. 28-29. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 132) 井上民二 (1993) 林冠に咲く花と昆虫たち. In: 週刊朝日百科「動物たちの地球」熱帯雨林II. (ed. by 井上民二). pp. 38-39. 朝日新聞社, 東京.
- 133) 井上民二 (1994) 熱帯の小宇宙「サラワクの森」から - [未知の生態系] 手にとって「林冠」を観察する. 科学朝日 54 (1): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 134) 井上民二 (1994) フタバガキの開花 - 芳醇な香り放ち、ハチを誘う. 科学朝日 54 (2): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 135) 井上民二 (1994) ヤドリギの送粉 - ザイルで登って鳥の生態研究を始める. 科学朝日 54 (3): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 136) 井上民二 (1994) 夜の昆虫たち ライトトップで多様さを肌で感じる. 科学朝日 54 (4): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 137) 井上民二 (1994) パイオニア植物 - 用心棒をやとって動植物の攻撃を避ける. 科学朝日 54 (5): 68-73. 朝日新聞社, 東京.
- 138) 井上民二 (1994) 従属栄養型植物 - 動物から栄養をもらう常識はずれの植物. 科学朝日 54 (6): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 139) 井上民二 (1994) タワーの最上階で感動の一夜を過ごす. 科学朝日 54 (7): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 140) 井上民二 (1994) 未知の送粉システムを夜の観察で解明する. 科学朝日 54 (8): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 141) 井上民二 (1994) サトイモと甲虫 - 交尾場所を提供し送粉を手伝わせる. 科学朝日 54 (9): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 142) 井上民二 (1994) 共生ネットワーク - キノコと出合って大繁盛したフタバガキ. 科学朝日 54 (10): 68-69. 朝日新聞社, 東京.
- 143) 井上民二 (1994) ロングハウス 山住みの民・イバン族の集合住宅に泊まる. 科学朝日 54 (11): 68-69. 朝日新聞社.
- 144) 井上民二 (1994) 河川を利用して奥地に入り最高峰ランジャ山にのぼる. 科学朝日 54 (12): 128-131. 朝日新聞社.
- 145) Inoue, T.; Hamid, A. A. (1994) Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics (Long-term Study of Dipterocarp Forests in Sarawak) . 255 pp. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.

- 146) Inoue, T.; Hamid, A. A. (1994) Introduction to the Canopy Biology Program in Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 1-3. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 147) Inoue, T.; Yumoto, T.; Hamid, A. A.; Ogino, K.; Lee, H. S. (1994) Construction of a canopy observation system in the tropical rainforest of Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 4-18. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 148) Momose, K.; Nagamitsu, T.; Inoue, T. (1994) Manual for measurement of micro-climate in the canopy. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 24-25. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu
- 149) Momose, K.; Nagamitsu, T.; Sakai, S.; Inoue, T.; Hamid, A. A. (1994) Climate data in Lambir Hills National Park and Miri Airport, Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 26-39. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 150) Momose, K.; Nagamitsu, T.; Yumoto, T.; Nagamasu, H.; Inoue, T.; Itino, T.; Kato, M.; Kohyama, T.; Hamid, A. A. (1994) Manual for monitoring plant phenology in Lambir Hills National Park, Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 57-105. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 151) Momose, K.; Nagamitsu, T.; Yumoto, T.; Nagamasu, H.; Inoue, T.; Itino, T.; Kato, M.; Kohyama, T.; Hamid, A. A. (1994) Plant phenology in a non-general flowering period of 17 months from August 1992, in Lambir Hills National Park, Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 106-110. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 152) Momose, K.; Inoue, T. (1994) Pollination syndromes in the plant-pollinator community in the lowland mixed dipterocarp forests of Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 119-141. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 153) Nagamitsu, T.; Inoue, T. (1994) Flower-visiting insects collected in lowland dipterocarp forests in Lambir Hills National Park, Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 142-150. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 154) Momose, K.; Nagamitsu, T.; Inoue, T. (1994) Reproductive ecology of an emergent tree, *Dryobalanops lanceolata*, Dipterocarpaceae, in a non-general flowering period in Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp.

- 158-172. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 155) Kato, M.; Inoue, T. (1994) Pollination of *Gnetum* by nocturnal moths in a palaeotropical rain forest. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 182-186. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 156) Itino, T.; Nagamitsu, T.; Inoue, T.; Hamid, A. A.; Momose, K.; Kato, M.; Yamane, S. (1994) Manual for census of seasonal changes in arthropod abundance in tropical rainforests. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 187-193. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 157) Kato, M.; Inoue, T.; Hamid, A. A.; Itino, T.; Merdek, M. B.; Nona, A. R.; Nagamitsu, T.; Yamane, S.; Yumoto, T. (1994) Seasonality and vertical structure of light-attracted insect communities in a tropical lowland dipterocarp forests in Sarawak. In: Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 199-221. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 158) Inoue, T.; Nagamitsu, T.; Momose, K.; Sakagami, F. S.; Hamid, A. A. (1994) Stingless bees in Sarawak. Plant Reproductive Systems and Animal Seasonal Dynamics. (eds. by Inoue, T.; Hamid, A. A.) pp. 231-237. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 159) Inoue, T.; Hamid, A. A.; Ogino, K. (1994) Plant and animal interactions in the rainforest canopy: The long-term observation by the tree-tower and walkway system. International Symposium; Tropical Rain Forests in a Global Greenhouse.
- 160) 井上民二 (1994) 責任編集. 生物多様性の創出・維持機構の解明. 科学研究費補助金「重点領域研究」平成7年度発足重点領域申請書. 32 pp. 京大大学生態学研究センター, 大津.
- 161) 井上民二 (1994) 熱帯における生物の多様性と生物間相互作用 1-1-1 陸上生物. 平成5年度調査報告書「熱帯生物機能利用技術の先導研究」pp. 7-26. (財) バイオインダストリー協会.
- 162) 井上民二 (1994) 熱帯における生物の多様性と生物間相互作用 1-2-2 熱帯における生物多様性の保全と利用に向けて - 現状と次の一步をめざして. 平成5年度調査報告書「熱帯生物機能利用技術の先導研究」pp. 48-55. (財) バイオインダストリー協会.
- 163) 井上民二 (1994) 樹脂が広げる生物の関係性. 毎日新聞 (夕刊), 大阪本社 1994/03/05.
- 164) Kato, M.; Inoue, T. (1994) Origin of insect pollination. *Nature* 368: 195.
- 165) 井上民二 (1994) 林冠生物学事始め. 地球環境変動の科学 - II 368: 130-139. 第8回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会. クバプロ.
- 166) 井上民二 (1994) “林冠”にくりひろげられる動植物の多彩な共進化. *For the Pharmacist* 10: 7-12.
- 167) 井上民二 (1994) もう働きバチと呼ばないで. *アエラ* 21: 31-33. 朝日新聞社, 東京.
- 168) Inoue, T.; Hamid, A. A. (1994) Introduction to the canopy biology program in Sarawak. *Long Term*

Ecological Research in relation to Forest Ecosystem Management. Forest Department, Sarawak, Malaysia.

- 169) Inoue, T.; Suka, T.; Roubik, D. W. (1994) Effects of worker reproduction on systems of kin recognition in stingless bees. 12th Congress of the International Union for the Study of Social Insects IUSSI. pp. 21. Université Paris Nord.
- 170) Suka, T.; Inoue, T.; Roubik, D. W. (1994) Worker oviposition and kin recognition of the stingless bee *Scaptotrigona Barrocoloradensis*. 12th Congress of the International Union for the Study of Social Insects IUSSI. pp. 338. Université Paris Nord.
- 171) 井上民二 (1994) 現代の熱帯林探検 - マレーシア、ボルネオ島で行われている林冠調査. *Newton* 14 (9): 38-41. (株) 教育社.
- 172) 井上民二 (1994) 「私見/直言」多様な生物、市民参加で守りたい. *毎日新聞* (朝刊) 1994/10/27.
- 173) Yumoto, T.; Inoue, T. (1994) Plant phenology and plant-animal interactions observed in a tropical lowland forest in Sarawak, Malaysia. *Forest Canopies: Ecology, Biodiversity and Conservation*. pp. 34. The Marie Selby Botanical Gardens, Sarasota, Florida, USA.
- 174) Inoue, T.; Hamid, A. A. (1994) Canopy biology program in Sarawak. *Forest Canopies: Ecology, Biodiversity and Conservation*. pp. 45. The Marie Selby Botanical Gardens, Sarasota, Florida, USA.
- 175) Inoue, T. (1994) The creation and maintenance of biodiversity-practice in Asia. *International Conference of Biotechnology*. pp. 87-94. Bio Japan '94 Osaka.
- 176) 井上民二 (1994) 生物における共生の生態学. *総合的地域研究* 7: 35-41.

KAWANABE, Hiroya 川那部浩哉

- 607) 堀道雄; 川那部浩哉 (1993) 編集. 川・湖・湿地. In: 朝日百科「動物たちの地球」10: 257-288.
- 608) 川那部浩哉 (1994) 生命の多様性と関係の総体 回想風に. *数理科学* 368: 16-19.
- 609) 川那部浩哉 (1994) 1993年読書アンケート. *みすず* 394: 26-27.
- 610) 川那部浩哉 (1994) うるか多自然型河川. *自然保護* 381: 10.
- 611) 川那部浩哉 (1994) 諏訪湖に設けた隔離水体における各種操作実験の最終報告: 書評. *日経サイエンス* 94 (3): 152-153.
- 612) 浦野栄一郎; 川那部浩哉 (1994) 編集. 地球共生圏. In: 朝日百科「動物たちの地球」14: 289-320.
- 613) 川那部浩哉 (1994) 自然と人. *遺伝* 48 (4): 4-5.
- 614) Kawanabe, H.; Gashagaza, M. M.; Hori, M. (1994) A conservation issue of biodiversity of Lake

- Tanganyika, with special reference to inshore-fishes. Verhandlungen fuer Internationale Vereinigung fuer Theoretische und Angewandte Limnologie 25: 2182.
- 615) Kawanabe, H.; Maruyama, T.; Niimura, Y. (1994) Sea-run form of a masu- salmon *Salmo* (*Oncorhynchus*) *masou ishikawai*: A conservation problem. Verhandlungen fuer Internationale Vereinigung fuer Theoretische und Angewandte Limnologie 25: 2191.
- 616) 川那部浩哉 (1994) はじめに. 京都大学生態学研究センター・ニュース 21: 1-2.
- 617) 川那部浩哉 (1994) 東アジアに「地球共生圏」ネットワークの構築を. 職業能力開発ジャーナル 36 (5): 8-9.
- 618) 川那部浩哉 (1994) 地球共生系. ふるさと創生文化講演会シリーズ9. pp. 44-38. 別府市ふるさとチャレンジ事業推進協議会, 別府. (In: ふるさと創生文化講演会総集編. pp. 123-135. pl. 1. 別府市ふるさとチャレンジ事業推進協議会, 別府)
- 619) 川那部浩哉 (1994) . アユと『アユの話』と私. In:アユの話 (by 宮地伝三郎) . pp. 293-308. 岩波書店 (同時代ライブラリー), 東京.
- 620) 川那部浩哉 (1994) 自然は文化・深泥池を生物多様性保護の一つのモデルに. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然 (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) . pp. 170-171. 京都新聞社, 京都.
- 621) 川那部浩哉 (1994) はじめに. In: バイカル湖・古代湖のフィールドサイエンス (eds. by 森野浩; 宮崎信之) . pp. 3-4. 東京大学出版会, 東京.
- 622) 川那部浩哉 (1994-95) 監修. シリーズ共生の生態学. 全8巻. 平凡社, 東京.
- 623) 川那部浩哉; 平井淳夫 (1994) 環境への提言7 生態系. AERA Mook 4: 24-25.
- 624) Nakai, K.; Kawanabe, H.; Gashagaza, M. M. (1994) Ecological studies on the littoral cichlid communities of Lake Tanganyika: the coexistence of many endemic species. Archiv fuer Hydrobiologie, Beiheft Ergebnisse der Limnologie, 44: 375-391.
- 625) 京極純一; Heath, Sir Edward R. G.; 陳舜臣; 植木浩; 川那部浩哉; 脇田晴子; 中西輝政; 横山俊夫 (1994) シンポジウムIV 100年後の政治. In: 平安会議「人間・文明・そして地球」会議記録 (eds. by 岡田節人; 他) . pp. 113-135. 平安建都1200年記念協会, 京都.
- 626) 和田英太郎; 川那部浩哉 (1994) 国際生物科学連合第25回総会に出席して - 特に「生物多様性フォーラム」とDIWPAについて. 京都大学生態学研究センター・ニュース 25: 4-5.
- 627) 川那部浩哉 (1994) 地球共生圏: 生物関係の多様性を探る. オムロン京都文化フォーラム39. 40 pp. NHK京都文化センター; オムロン, 京都.
- 628) Strong, M.; 梅原猛; 稲盛和夫; 川那部浩哉; 立花隆; 山田恵諦; 藤吉慈海 (1994) 地球サミット・将来世代から地球の現在を問う. In: 将来世代との連帯を求めて (ed. by 京都フォーラム) . pp. 39-67. NHK出版, 東京.
- 629) 川那部浩哉 (1994) 川那部浩哉が読む「森はよみがえる」石城謙吉著. 産経新聞 1994/12/06.
- 630) 川那部浩哉 (1994) 川那部浩哉が読む「クライスト全集第2巻戯曲II」クライスト著. 産経新聞

1994/12/20.

KOHYAMA, Takashi 甲山隆司

- 44) Kohyama, T.; Grubb, P. J. (1994) Below- and above-ground allometry of shade-tolerant seedlings in a Japanese warm-temperate rain forest. *Functional Ecology* 8: 229-236.
- 45) Kohyama, T. (1994) Size-structure-based models of forest dynamics to interpret population- and community-level mechanisms. *Journal of Plant Research* 107: 107-116.
- 46) Kohyama, T.; Suzuki, E.; Hotta, M. (1994) Spatial distribution pattern of representative tree species in a foothill rain forest in West Sumatra. *Tropics* 4: 1-15.
- 47) Yoneda, T.; Ogino, K.; Kohyama, T.; Tamin, R.; Syahbuddin, Rahman, M. (1994) Horizontal variance of stand structure and productivity in a tropical foothill rain forest, West Sumatra, Indonesia. *Tropics* 4: 17-33.

SHIMIZU, Isamu 清水 勇

- 88) Sakamoto, K.; Shimizu, I. (1994) Photosensitivity in the circadian hatching rhythm of the carotenoid-depleted silkworm, *Bombxy mori*. *J. of Biol. Rhythms* 9: 61-70.
- 89) Ichikawa, T.; Shimizu, I. (1994) Structure of pupative diapause hormone producing cells in the silkworm *Bombxy mori*. *Zool. Science* 11: 21.
- 90) Shimizu, I.; Barth, F. G. (1994) Effect of temperature on vibratory communication of wandering spider *Cupiennius salei*. *Zool. Science* 11: 103.
- 91) 清水勇 (1994) ウィーン大学動物学教室滞在記. *比較生理生化学* 11: 180-182.

SUGIMOTO, Atsuko 杉本敦子

- 13) Tayasu, I.; Sugimoto, A.; Wada, E.; Abe, T. (1994) Xylophagous termites depending on atmospheric nitrogen. *Naturwissenschaften* 81: 229-231. [termite, nitrogen fixation, ¹⁵N]

TABATA, Hideo 田端英雄

- 96) 田端英雄 (1994) アカマツとコナラ. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. pp. 132-133. 京都新聞社, 京都.
- 97) 田端英雄 (1994) 自然の遺産. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. pp. 164-165. 京都新聞社, 京都.
- 98) 田端英雄 (1994) 里山の現状と問題. ニュース和歌山, 1994/06/28.

TEZUKA, Yasuhiko 手塚泰彦

- 99) Miyajima, T.; Nakanishi, M.; Nakano, S.; Tezuka, Y. (1994) An autumnal bloom of the diatom *Malosira granulata* in a shallow eutrophic lake: physical and chemical constraints on its population dynamics. Arch. Hydrobiol. 130: 143-162. [*Malosira granulata*, autumnal bloom, silica]
- 100) Tezuka, Y. (1994) Is the suspended particulate phosphorus in Lake Biwa potentially bioavailable? Jpn. Limnol. 55: 171-174 [particulate phosphorus, chloroform treatment, release of dissolved inorganic phosphorus]

WADA, Eitaro 和田英太郎

- 159) 和田英太郎 (1993) 現在の地球大気の組成を決めた要素 - 生物の活動 - 気象研究ノート. 181: 13-36. [酸素の歴史、大気の成分]
- 160) Ueda, S.; Ogura, N.; Wada, E.; Yoshinari, T. (1993) Nitrogen and oxygen isotopic characterization of N_2O in groundwater and some other sources, Proc. of 5th Internat. Workshop on Nitrous Oxide Emissions 7.2.1-7.2.6. [N_2O , ^{15}N , ^{18}O]
- 161) 和田英太郎; 半場祐子 (1994) 生元素安定同位体比自然存在比 - その研究の現状と展望. 生化学 66: 15-28. [^{13}C , ^{15}N , D]
- 162) Yoshioka, T.; Wada, E.; Hayashi, H. (1994) A stable isotope study on seasonal food web dynamics in a eutrophic lake. Ecology 75: 835-846. [^{13}C , ^{15}N , pond smelt, Lake Suwa]
- 163) 和田英太郎 (1994) 安定同位体比を利用した物質循環の解明. バイカル湖古代湖のフィールドサイエンス. (eds. by 森野浩; 宮崎信之) pp. 227-245. 東京大学出版会. [食物網, ^{15}N , ^{13}C]
- 164) 和田英太郎; 山田佳裕 (1994) 沈黙の同位体で探る湖の生態系. 化学 49: 719-723. [琵琶湖、

丹沢湖]

- 165) Wada, E. (1994) What is going on in Lake Baikal? Hot spots on global environmental problems: Paleoclimate changes and biodiversity. *Japan InfoMAB* 15: 10-11. [Introduction, L. Baikal]
- 166) Wada, E. (1994) Methane emission from wetland ecosystems: Isotope evidence. *Proceedings of Isotope Workshop II*, Ed. M. O. Jedrysek, Int'l Isotope Society, Univ. of Wroclaw. pp. 179-178. [Tropical Swamp Forest, global budget]
- 167) Wada, E. (1994) ^{15}N - ^{13}C maps of several aquatic ecosystems. *Proceedings of Isotope Workshop II*, Ed. M. O. Jedrysek, Int'l Isotope Society, Univ. of Wroclaw. pp. 179-182. [Watershed, Lake, Lagoon]
- 168) Matsuura, Y.; Wada, E. (1994) Carbon and nitrogen stable isotope ratios in marine organic matters of the coastal ecosystem in Ubatuba, southern Brazil. *Ciencia e Cultura (Journal of the Brazilian Association for the Advancement of Science)* 46(3): 141-146. [Transport, land organic matter]
- 169) 木庭啓介; 徳地直子; 岩坪五郎; 和田英太郎 (1994) 自然安定同位体比を用いた森林生態系における脱窒過程の検討. *京大演法* 66: 37-47. [芦生、地下水、 NO_3]
- 170) Wada, E. (1994) Gas emission from tropical forest with emphasis on stable isotopic composition. *Global Environ. Forum III*. pp. 91-104. The United Nations Univ. [メタン、熱帯林]
- 171) Terazaki, M.; Yoshimura, M.; Kabaya, Y.; Wada, E. (1994) ^{15}N abundance in micronekton in Sagami Bay, Central Japan. *J. Pl. Res.* 16: 1589-1593.

YUMA, Masahide 遊磨正秀

- 53) Yuma, M. (1994) Food habits and foraging behaviour of benthivorous cichlid fishes in Lake Tanganyika. *Env. Biol. Fish.* 39: 173-182.
- 54) 遊磨正秀 (1994) 編集. 住民参加による水辺の遊び再発見. 158 pp. 平成5年度 (仮称) 琵琶湖博物館開設準備室委託研究報告書.
- 55) 遊磨正秀 (1994) 人間にとっての身近な自然. In: 週刊朝日百科「動物たちの地球」 142 (14): 318-320.
- 56) 遊磨正秀 (1994) うるおいのある豊かな人里環境とは. *ホタルと人里* 2: 59-61.
- 57) 遊磨正秀 (1994) 人里の水系に住むホタル. *昆虫と自然* 29 (5): 2-5.
- 58) 遊磨正秀 (1994) 身近な水辺環境. *産業と環境* 23: 72-74.
- 59) 遊磨正秀 (1994) 類似自然の中ではぐくまれた身近な生きものとのふれ合い. *Global Net* 49: 2-3.

- 1) Yumoto, T. (1986) The ecological pollination syndromes of insect-pollinated plants in an alpine meadow. *Ecol. Res.* 1 : 83-96.
- 2) Yahara, T.; Yamaguchi, H.; Yumoto, T. (1986) Biology of hybridization between *Farfugium japonica* and *F. hiberniflorum* (Compositae) . In: *Modern Aspects of Species.* (eds. by Iwatsuki, K.; Raven, P. H.; Bock, W. J.) pp. 183-193. University of Tokyo Press.
- 3) 湯本貴和 (1986) 屋久島・樹上に広がる花と昆虫の世界へ. *アニマ* 164 : 95-98. 平凡社.
- 4) 湯本貴和 (1986) 花を追って(1) スダジイ. *生命の島* 1: 15. 屋久島産業文化研究所.
- 5) 湯本貴和 (1986) 花を追って(2) クサギ. *生命の島* 2: 15. 屋久島産業文化研究所.
- 6) 湯本貴和 (1986) 花を追って(3) ツワブキ. *生命の島* 3: 11. 屋久島産業文化研究所.
- 7) Yumoto, T. (1987) Pollination systems in a warm temperate evergreen broad-leaved forest on Yaku Island. *Ecol. Res.* 2: 133-145.
- 8) Yumoto, T. (1987) Pollination ecology in the canopy: two corollaries deduced from the energetics of pollination. In: *Evolution and Coadaptation in Biotic communities* (eds. by Kawano, S.; Connell, J. H.; Hidaka, T.) pp. 165-182. University of Tokyo Press.
- 9) 湯本貴和 (1987) 花を追って(4) ヤブツバキ. *生命の島* 4: 32-33. 屋久島産業文化研究所.
- 10) 湯本貴和 (1987) 花を追って(5) サクラツツジ. *生命の島* 5: 30-31. 屋久島産業文化研究所.
- 11) 湯本貴和 (1987) 花を追って(6) ハマオモト. *生命の島* 6: 32-33. 屋久島産業文化研究所.
- 12) 湯本貴和 (1987) 花を追って(7) ナンバンギセル. *生命の島* 7: 37. 屋久島産業文化研究所.
- 13) Yamagiwa, J.; Yumoto, T.; Mwanza, N.; Maruhashi, T. (1988) Evidence of tool-use by chimpanzees (*Pan troglodytes schweinfurthii*) for digging out a bee-nest in the Kafuzi- Biega National Park, Zaire. *Primates* 29: 405-411.
- 14) Yumoto, T. (1988) Pollination systems in a cool temperate mixed coniferous and broad-leaved forest zone of Yakushima Island. *Ecol. Res.* 3: 117-129.
- 15) Tabata, H.; Tsuchiya, K.; Shimizu, Y.; Fujita, N.; Matsui, J.; Koike, F.; Yumoto, T. (1988) Vegetation and climatic changes in Nepal Himalayas I. Vegetation and climate in Nepal Himalayas as the basis of palaeoecological studies. *Proc. Indian Natn. Sci. Acad.* 54: 530-537.
- 6) Mwanza, N.; Maruhashi, T.; Yumoto, T.; Yamagiwa, J. (1988) Conservation of eastern lowland gorillas in the Masisi Region, Zaire. *Primate Conserv.* 9: 111-114.
- 17) 湯本貴和 (1988) 花の咲かせ方とポリネーター. 別冊ニュートン 植物の世界 2: 117. 教育社.
- 18) 山極寿一; 丸橋珠樹; 浜田穰; 湯本貴和; ムワンザ=ンドウンダ (1988) ザイール国キヴ州に生息する霊長類の現状と保護の必要性について. *霊長類研究* 4: 66-82.
- 19) 湯本貴和 (1988) 花を追って(8) オオバヤドリギ. *生命の島* 8: 31. 屋久島産業文化研究所.

- 20) 湯本貴和 (1988) 花を追って(9) ヤクシマシャクナゲ. 生命の島 9: 39. 屋久島産業文化研究所.
- 21) 湯本貴和 (1988) 花を追って(10) 屋久島高地矮小植物群. 生命の島 10: 34-35. 屋久島産業文化研究所.
- 22) 湯本貴和 (1988) 花を追って(11) フヨウ. 生命の島 11: 26-27. 屋久島産業文化研究所.
- 23) 湯本貴和 (1989) ザイル調査記 -2-. モンキー (JMC) 223: 27-32. 日本モンキーセンター.
- 24) 湯本貴和 (1989) サルの食物(8) ヒメヒサカキ. モンキー (JMC) 226: 2. 日本モンキーセンター.
- 25) 丸橋珠樹; 湯本貴和 (1989) 森林の平面構造とヤクザル (*Macaca fuscata yakui*) の採食行動. 武蔵大学人文学会誌 21: 356-376. 武蔵大学.
- 26) 湯本貴和 (1989) 花を追って(12) アオモジ. 生命の島 12: 12-13. 屋久島産業文化研究所.
- 27) 湯本貴和 (1989) 花を追って(13) ヤマモモ. 生命の島 13: 26-27. 屋久島産業文化研究所.
- 28) 湯本貴和 (1989) 花を追って(14) アコウ. 生命の島 14: 28-29. 屋久島産業文化研究所.
- 29) 湯本貴和 (1989) 花を追って(15) サザンカ. 生命の島 15: 54-55. 屋久島産業文化研究所.
- 30) 湯本貴和 (1990) 花の進化生態学. 日本の生物 4(2): 30-35. 文一総合出版.
- 31) 湯本貴和 (1990) サルの食物(9) ヤマモモ. モンキー (JMC) 226: 2. 日本モンキーセンター.
- 32) 湯本貴和 (1990) 花の形態進化論. モルフォルギア 12: 40-60. ゲーテ自然科学の集い.
- 33) 湯本貴和 (1990) 花を追って(16) ヤマザクラ. 生命の島 16: 20-21. 屋久島産業文化研究所.
- 34) 湯本貴和 (1990) 花を追って(17) クズ. 生命の島 17: 38-39. 屋久島産業文化研究所.
- 35) 湯本貴和 (1990) 花を追って(18) フカノキ. 生命の島 18: 23-25. 屋久島産業文化研究所.
- 36) Yamagiwa, J.; Mwanza, N.; Yumoto, T.; Maruhashi, T. (1991) Ant eating by eastern lowland gorillas. *Primates* 32: 247-253.
- 37) 湯本貴和 (1991) 熱帯アフリカの森林. プランタ 13: 31-37. 研成社.
- 38) 湯本貴和 (1991) 花を追って(19) アセビ. 生命の島 19: 21-23. 屋久島産業文化研究所.
- 39) 湯本貴和 (1991) 花を追って(20) アブラギリ. 生命の島 20: 18-20. 屋久島産業文化研究所.
- 40) 湯本貴和 (1991) 花を追って(21) ヤクシマヒヨドリ. 生命の島 21: 14-16. 屋久島産業文化研究所.
- 41) Mwanza, N.; Yamagiwa, J.; Yumoto, T.; Maruhashi, T. (1992) Distribution and range utilization of eastern lowland gorillas. In: *Topics in Primatology* vol. 2 (eds. by Itoigawa, N.; Sugiyama, Y.; Sackett, G. P.; Thompson, R. K. R.) pp. 283-300. University of Tokyo Press.
- 42) Yamagiwa, J.; Mwanza, N.; Yumoto, T.; Maruhashi, T. (1992) Travel distances and food habits of eastern lowland gorillas. In: *Topics in Primatology* vol. 2 (eds. by Itoigawa, N.; Sugiyama, Y.; Sackett, G. P.; Thompson, R. K. R.) pp. 267-281. University of Tokyo Press.
- 43) Yamagiwa, J.; Mwanza, N.; Spangenberg, A.; Maruhashi, T.; Yumoto, T.; Fischer, A.; Steinhauer-Burkart, B.; Refisch, J. (1992) Population density and ranging pattern of chimpanzees in Kahuzi-Biega National Park, Zaire: a comparison with a sympatric population of gorillas.

African Study Monograph 13: 217-230.

- 44) 井上健; 湯本貴和 (1992) 編集. 昆虫を誘い寄せる戦略 - 植物の繁殖と共生. (シリーズ地球共生系 第3巻). 平凡社.
- 45) 湯本貴和 (1992) 動物による種子散布の研究 - その目的と方法. 生物科学 44: 98-107. 岩波書店.
- 46) 湯本貴和 (1992) 「多様性」の森. マザーネイチャーズ 5: 78-79. 新潮社.
- 47) 湯本貴和 (1992) ハマユウ. フィールドウォッチングII 6: 24-25. 北隆館.
- 48) 湯本貴和 (1992) ヤマモモ. フィールドウォッチングII 7: 76-81. 北隆館.
- 49) 湯本貴和 (1992) 花を追って(22) ヒサカキ類. 生命の島 23: 74-76 屋久島産業文化研究所.
- 50) 湯本貴和 (1992) 花を追って(23) タブノキ. 生命の島 24: 68-70 屋久島産業文化研究所.
- 51) 湯本貴和 (1992) 花を追って(24) 秋の七草. 生命の島 25: 64-66 屋久島産業文化研究所.
- 52) 湯本貴和 (1992) 花を追って(25) ヤクシマリンドウ. 生命の島 26: 64-66. 屋久島産業文化研究所.
- 53) 湯本貴和 (1992) 訪花昆虫. 「深泥池の自然(26)」京都新聞, 1992/07/27.
- 54) Yamagiwa, J.; Mwanza, N.; Spangenberg, A.; Maruhashi, T.; Yumoto, T.; Fischer, A.;
Steinhauer-Burkart, B. (1993) A census of eastern lowland gorillas in Kahuzi-Biega National Park with reference to mountain gorillas in the Virunga region, Zaire. *Biol. Conserv.* 64: 83-89.
- 55) Yamagiwa, J.; Yumoto, T.; Maruhashi, T.; Mwanza, N. (1993) Field methodology for analyzing diets of eastern lowland gorillas in Kahuzi-Biega National Park, Zaire. *Tropics* 2: 209-218.
- 56) Mitani, S.; Yamagiwa, J.; Oko, R. A.; Mousambote, J-M.; Yumoto, T.; Maruhashi, T. (1993)
Approaches in density estimates and reconstruction of social groups of western lowland gorillas in the Ndoki forest, northern Congo. *Tropics* 2: 219-230.
- 57) 湯本貴和 (1993) 天空のフィールドに挑戦する. フロント 5(12): 20. リバーフロント整備センター.
- 58) 湯本貴和 (1993) 種子散布 動物、特にアフリカゾウの役割. In: 週刊朝日百科「動物たちの地球」 110: 44-46. 朝日新聞社.
- 59) 湯本貴和 (1993) アリと植物の共生. In: 週刊朝日百科「動物たちの地球」 110: 56-57. 朝日新聞社.
- 60) 湯本貴和 (1993) 開花のフェノロジーと群集構造. In: 花の引き寄せられる動物 - 花と送粉者の共進化. (eds. by 井上民二; 加藤真) pp. 103-136. (シリーズ地球共生系 第4巻) 平凡社.
- 61) 湯本貴和 (1993) 動物と植物の相互作用. In: 生物と環境. (ed. by 黒岩澄雄) pp. 102-118. (基礎生物学講座 第9巻) 朝倉書店.
- 62) 湯本貴和 (1993) 林冠部へのアプローチ - 植物の成長と繁殖のフェノロジー. 科学 63: 793-801. 岩波書店.

- 63) 湯本貴和 (1993) 花を追って(26) スギ. 生命の島 27: 40-41. 屋久島産業文化研究所.
- 64) 湯本貴和 (1993) 花を追って(27) クチナシ. 生命の島 28: 84-86. 屋久島産業文化研究所.
- 65) 湯本貴和 (1993) 花を追って(28) ヒメヒオウギズイセン. 生命の島 29: 74-76. 屋久島産業文化研究所.
- 66) 湯本貴和 (1993) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(1) 熱帯雨林ってどんなところ? ざ・いけのぼう272: 39-41. 華道家元池坊.
- 67) 湯本貴和 (1993) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(2) 森の夜明け. ざ・いけのぼう 273: 39-41. 華道家元池坊.
- 68) 湯本貴和 (1993) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(3) サルが住む森・つくる森. ざ・いけのぼう274: 47-49. 華道家元池坊.
- 69) 湯本貴和 (1993) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(4) ゾウに運ばれる種子. ざ・いけのぼう275: 39-41. 華道家元池坊.
- 70) 湯本貴和 (1993) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(5) 林冠に挑むI. ざ・いけのぼう 276: 39-41. 華道家元池坊.
- 71) 湯本貴和 (1993) 屋久島・西部林道改修計画に思う. 南日本新聞, 1993/06/23.
- 72) Yamagiwa, J.; Mwanza, N.; Yumoto, T.; Maruhashi, T. (1994) Seasonal changes in the composition of diets of eastern lowland gorillas. *Primates* 35: 1-14.
- 73) Yumoto, T.; Yamagiwa, J.; Mwanza, N.; Maruhashi, T. (1994) List of identified plants in the Kahuzi-Biega National Park, Zaire. *Tropics* 3: 295-308.
- 74) Mousambote, J-M.; Yumoto, T.; Mitani, S.; Nishihara, T.; Suzuki, S.; Kuroda, S. (1994) Vegetation and list of identified plants in the Ndoki forest, northern Congo. *Tropics* 3: 277-294.
- 75) 岡本素治; 湯本貴和 (1994) 種子散布の生物学. In: 植物の自然史 - 多様性の進化学. (eds. by 岡田博; 植田邦彦; 角野康郎) pp. 37-55. 北海道大学図書刊行会.
- 76) 湯本貴和 (1994) 訪花昆虫 - 蜜と花粉だけに依存. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 68-69. 京都新聞社.
- 77) 湯本貴和 (1994) オオバヤドリギ (新植物の生活誌) 月刊百科 380: 36-19. 平凡社.
- 78) 湯本貴和 (1994) 熱帯植物マンダラ : アリ植物. In: 週刊朝日百科「植物の世界」 23: 60-61. 朝日新聞社.
- 79) 湯本貴和 (1994) オオバヤドリギと送粉者. In: 週刊朝日百科「植物の世界」 40: 116. 朝日新聞社.
- 80) 湯本貴和 (1994) 屋久島の照葉樹林帯とヤクスギ林帯を構成する植物に訪花するハナバチ相. 屋久島原生自然環境保全地域調査報告書. pp. 139-156. 環境庁自然保護局.
- 81) 湯本貴和 (1994) 花を追って(29) オガタマノキ. 生命の島 30: 52-54. 屋久島産業文化研究所.
- 82) 湯本貴和 (1994) 花を追って(30) ハイノキ. 生命の島 31: 30-32. 屋久島産業文化研究所.

- 83) 湯本貴和 (1994) 花を追って(31) モダマ. 生命の島 32: 82-83. 屋久島産業文化研究所.
- 84) 湯本貴和 (1994) 花を追って(32) サツマサンキライ. 生命の島 33: 32-33 屋久島産業文化研究所.
- 85) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(6) 林冠に挑むII. ざ・いけのぼう 277: 39-41. 華道家元池坊.
- 86) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(7) 林冠に挑むIII. ざ・いけのぼう278: 39-41. 華道家元池坊.
- 87) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(8) アリと共に生きる植物たち. ざ・いけのぼう279: 39-41. 華道家元池坊.
- 88) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(9) 川を旅するI. ざ・いけのぼう 280: 47-49. 華道家元池坊.
- 89) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(10) 川を旅するII. ざ・いけのぼう281: 39-41. 華道家元池坊.
- 90) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(11) 熱帯雨林に生きる人々. ざ・いけのぼう282: 39-41. 華道家元池坊.
- 91) 湯本貴和 (1994) 樹海の響き: 熱帯雨林の生物たちを訪ねて(12) 熱帯雨林は蘇るか. ざ・いけのぼう283: 39-41. 華道家元池坊.
- 92) 湯本貴和 (1994) 子供たちに残さなくてはならないこと. マップルマガジン 54: 195. 昭文社.

B. Research Students and Fellows 大学院生・研修員

HANBA, Yuko 半場祐子

- 1) 和田英太郎; 半場祐子 (1994) 生元素安定同位体比自然存在比 その研究の現状と展望. 生化学 66(1): 15-28.

KAMEDA, Kayoko 亀田佳代子

- 3) 竹中践; 竹中万紀子; 亀田佳代子 (1993) ムクドリ (*Sturnus cineraceus*) の個体の就峙行動解析へのラジオテレメトリー法の応用. 北海道東海大学紀要理工学系第6号 pp. 9-14.
- 4) Kameda, K. (1994) Identification of nest predators of the Rufous Turtle Dove *Streptopelia orientalis* by video tape recording. *Jap. J. Ornithol.* 43: 29-31.
- 5) Kameda, K. (1994) Effectiveness of antipredator behavior of the Rufous Turtle Dove *Streptopelia orientalis*. *Jap. J. Ornithol.* 43: 79-89.

MATSUI, Kiyoshi 松井 淳

- 15) 松井 淳 (1994) 水生植物の調査. In: 平成5年度淀川生態環境調査業務 (植物調査) 報告書. (財) 河川環境管理財団河川環境総合研究所大阪研究所.
- 16) 松井 淳; クライブ・ポンティング (1994) 緑の世界史. (石弘之らと共訳). 朝日新聞社.
- 17) 松井 淳 (1994) カキツバタ - 大きな群落で自生. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 70-71. 京都新聞社.
- 18) 松井 淳 (1994) トキソウ - 昆虫に花粉塊を押しつける. In: 京都深泥池 - 氷期からの自然. (eds. by 藤田昇; 遠藤彰) pp. 79-80. 京都新聞社.

MATSUBARA, Takeshi 松原健司

- 16) Matsubara, T.; Iwabuchi, K.; Sugimori, F.; Aoyama, K. (1994) The relation between the feeding

activity of wintering shovelers (*Anas clypeata*) and the horizontal distribution of zooplankton in Lake Teganuma, Japan. *Hydrobiologia* 294: 253-261.

MIYAJIMA, Toshihiro 宮島利宏

- 8) Nakano, S.; Miyajima, T.; Nakanishi, M.; Tezuka, Y. (1993) Abundance of algal picoplankton and heterotrophic flagellates in the south basin of Lake Biwa, with special attention to nutrient levels. *Ann. Rep. Interdiscipl. Res. Inst. Environ. Sci.* 12: 55-63.
- 9) Miyajima, T. (1993) Reductive dissolution of manganese coupled to mineralization in lake water/sediment microcosms. *Mem. Fac. Sci. Kyoto Univ.* B15: 15-27.
- 10) Yoshioka, T.; Ueda, S.; Miyajima, T. (1994) Methane metabolism in tropical swamp ecosystems in southern Thailand. In: *Researches Related to the UNESCO's Man and Biosphere Programme 1993-1994, Coordinating Committee on MAB Programme.* pp. 13-20.
- 11) Miyajima, T.; Nakanishi, M.; Nakano, S.; Tezuka, Y. (1994) An autumnal bloom of the diatom *Melosira granulata* in a shallow eutrophic lake: physical and chemical constraints on its population dynamics. *Arch. Hydrobiol.* 130: 143-162.
- 12) Miyajima, T. (1994) Mud-water fluxes of inorganic nitrogen and manganese in the pelagic region of Lake Biwa: seasonal dynamics and impact on the hypolimnetic metabolism. *Arch. Hydrobiol.* 130: 303-324.
- 13) Wada, E.; Vijarnsorn, P.; Yoshida, N.; Yoshioka, T.; Sugimoto, A.; Ueda, S.; Katase, T.; Boonprakub, S.; Miyajima, T.; Kimura, M. (1994) Radiatively active gases in tropical swamp forest and wetland soils: I. Background and outline of methodology. In: *Proceedings of an international symposium on 'Tropical Rain Forests in Global Greenhouse', held at Ehime on January (in press)*
- 14) Vijarnsorn, P.; Boonprakub, S.; Ueda, S.; Yoshioka, T.; Miyajima, T.; Sugimoto, A.; Yoshida, N.; Wada, E. (1994) Radiatively active gases in tropical swamp forest and wetland soils: III. Seasonal variation in Narathiwat, Thailand in 1993. In: *Proceedings of an international symposium on 'Tropical Rain Forests in Global Greenhouse', held at Ehime on January (in press)*

NAGAMITSU, Teruyosh 永光輝義

- 1) 永光輝義 (1988) 石垣島東海岸における底質中の懸濁物濃度. In: *サンゴ礁文化圏の自然生活誌*

- 八重山白保部落のイノーと暮らし. トヨタ財団

- 2) Kato, M.; Salmah, S.; Nagamitsu T. (1992) Colony cycle and foraging activity of a tropical-montane bumblebee, *Bombus rufipes* (Hymenoptera, Apidae) in Southeast Asia. *Jpn. J. Ent.* 60(4): 765-776.
- 3) 永光輝義 (1993) ハナバチ群集の花粉源植物をめぐるギルド構造と資源分割様式. 京都大学大学院農学研究科農林生物学専攻修士論文.
- 4) Kato, M.; Itino, T.; Nagamitsu, T. (1993) Melittophily and ornithophily of long-tubes flowers in Zingiberaceae and Gesneriaceae in west Sumatra. *Tropics* 2(3): 129-142.
- 5) Nagamitsu, T.; Nagamasu, H. (1994) Keys for the pollen of Ashiu, central Japan. *Contr Biol Lab Kyoto Univ.* 28 (3): 261-355.

TAYASU, Ichirou 陀安一郎

- 3) Tayasu, I.; Sugimoto, A.; Wada, E.; Abe, T. (1994) Xylophagous termites depending on atmospheric nitrogen. *Naturwissenschaften* 81: 229-231.

C. Guest Scientists 協力研究員

HANAZATO, Takayuki 花里孝幸

- 1) 花里孝幸 (1994) 湖沼の動物プランクトン群集におけるカイロモンを介した捕食者-被食者関係. 日本生態学会誌 44: 61-77. [ケミカル・コミュニケーション、捕食者の間接影響、カイロモン、捕食者 被食者関係、動物プランクトン]
- 2) Hanazato, T. (1994) Stability and diversity of a zooplankton community in experimental ponds. In: Biodiversity, Its Complexity and Role. (eds. by Yasuno, M.; Watanabe, M.M.) pp. 177-186. Grob. Environ. Forum, Tokyo. [stability, diversity, zooplankton community, experimental ponds, insecticide]
- 3) Hanazato, T. (1994) Indirect effects of the predator Chaoborus on Daphnia population through chemical signals. In: Estimation of Water and Overland Ecological System. (eds. by Kozhova, O.M.; Bokova, I.K.) pp. 43-51. Nauka, Novosibirsk. [chemical communication, indirect predator effects, Chaoborus, Daphnia, zooplankton]

HINO, Shuji 日野修次

- 1) 日野修次; 三上英敏; 有末二郎; 今田和史; 川村洋司; 安富亮平; 伊澤敏穂, (1994) 湖沼における環境保全と生物生産性に関する研究. 平成5年度北海道企画振興部共同 研究報告 [一次生産、環境保全、食物連鎖系、貧栄養湖、ピコプランクトン]
- 2) 日野修次 (1994) 阿寒湖の水質と関連した湖沼特性 (微生物群集との関連). In: 阿寒国立公園の自然1993. pp. 385-407 前田一步園財団. [阿寒湖、湖沼生態系、生理活性、植物プランクトン、微生物群集]
- 3) Hino, S. (1994) Estimation of variation in the physiological activity of microorganisms communities and their survival during sinking process. Report of Hokkaido Institute of Environmental Sciences 21: 39-43. [freshwater lake, Lake Akan, microorganisms, physiological activity, sinking process]
- 4) 日野修次 (1994) 北海道に侵入したオオマリコケムシ. 北海道環境科学研究センター所報 21: 93-95. [オオマリコケムシ、外来種、侵入]
- 5) Takano, K.; Hino, S. (1994) What caused the summer replacement of dominant planktonic algae in Lake Barato? Japanese Journal of Limnology 55: 279-286. [blue-green algae, diatoms, dominant

species, water bloom]

NUBUSHI, Kazuyuki 犬伏和之

- 1) 犬伏和之; 村松康彦; 梅林正直 (1994) 水田生態系におけるメタンの動態 (第3報) わら施用時期が水田からのメタン放出に及ぼす影響. 日本土壤肥科学雑誌 65: 22-26. [メタン生成、水田土壌、わら施用、易分解性有機物、二酸化炭素]
- 2) Inubushi, K.; Chidthaisong, A. (1994) Mechanism and control of methane emission from Japanese paddy soil, International Workshop on CH₄ and N₂O in Asian Countries - Emission and Control in Agricultural Fields (Abstract). pp. 39-40. [methane, paddy soil, rice, transplanting, topdressing]
- 3) Inubushi, K.; Chidthaisong, A.; Umebayashi, M.; Lim Ching Pang; Jong Foh Shoon; Yonebayashi, K. (1994) Methane production and emission in tropical peat soil. Researches related to the UNESCO's Man and the Biosphere Programme in Japan 1993-1994. pp. 21-24 [methane, peat soil, tropical forest, temperature, oxidation]
- 4) 犬伏和之 (1994) 水田土壌の物質循環と微生物の動き. In: 微生物の生態19、物質循環における微生物の役割. (ed. by 日本微生物生態学会、小池勲) pp. 91-118. 学会出版センター、東京. [水田土壌、還元過程、易分解性有機物、窒素無機化、微生物バイオマス]
- 5) Inubushi, K.; Chidthaisong, A.; Umebayashi, M.; Yonebayashi, K. (1994) Methane production and emission in tropical peat soil. Transactions of 15th International Congress of Soil Science 9: 247-252. [methane, peat soil, tropical forest, water quality, oxidation]
- 6) Inubushi, K.; Ueda, T. (1994) Microbial interaction and genetic Diversity of nitrogen in paddy soil ecosystem. Abstracts of International Symposium "Microbial Diversity in Time and Space" and Workshop "Microbial Diversity and Cycling of Bioelements". 23pp. [biological nitrogen fixation, paddy soil, rice, microbial biomass, DNA]
- 7) 犬伏和之 (1994) 有機物の土壌中での分解と代謝. In: 土壌生化学. (ed. by 仁王以智夫) pp. 96-110. 朝倉書店、東京. [有機物分解、炭素代謝、水田土壌、畑・草地土壌、森林土壌]

IWAKUMA, Toshio 岩熊敏夫

- 1) Hirata, T.; Nohara, S.; Iwakuma, T.; Tang, C.; Nakatsuji, K. (1994) Seasonal changes of groundwater chemistry in Miyatoko mire. In: Wetland Management. (eds. by Falconer, R. A.; Goodwin, P.) pp. 260-269. Thomas Telford, London. [mire, groundwater, surface water]

- 2) 岩熊敏夫; 上野隆平; 安野正之 (1994) 宮床湿原の底生動物相、特にユスリカ類の分布. In: 生物圏保存地域における生物学的多様性の保全に関する総合研究. 文部省科学研究費補助金総合研究A研究成果報告書. pp. 97-106. [湿原、ユスリカ]
- 3) Yasuno, M.; Iwakuma, T. (1994) Use of chironomids as an indicator of the environmental state. In: Biological Monitoring of the Environment: A Manual of Methods. (eds. by Salanki, J.; Jefferey, D.; Hughes, G. M.) pp. 161-164. CAB International, Wallingford. [biomonitoring, method, chironomid]
- 4) 岩熊敏夫; 高村典子; 野原精一 (1994) 湖沼沿岸帯の生態系構造の特色、特に藻類群集の生産と窒素の取り込みについて. In: 1992・日本河川水質年鑑 研究・参考編. pp. 959-969. 山海堂, 東京. [霞ヶ浦、沿岸帯、物質循環]
- 5) 岩熊敏夫 (1994) 湖を読む. 151+9 pp. 岩波書店, 東京. [湖沼、生態]
- 6) 岩熊敏夫 (1994) ユスリカの仲間. In: 原色図鑑 野外の毒虫と不快な虫. (ed. by 梅谷献二) pp. 43-54. 全国農村教育協会, 東京. [ユスリカ、生態]

IWASA, Yoh 巖佐庸

- 1) Ezoë, H.; Iwasa, Y.; Umeda, T. (1994) Aggregation by chemotactic random walk: drifting clusters and chemotactic friction. *Journal of theoretical Biology* 168: 259-267.
- 2) Iwasa, Y.; Haccou, P. (1994) ESS emergence pattern of male butterflies in stochastic environments. *Evolutionary Ecology* 8: 503-523.
- 3) Iwasa, Y.; Ezoë, H.; Yamauchi, A. (1994) Evolutionarily stable seasonal timing of univoltine and bivoltine insects. In: *Insect Life-cycle Polymorphism: theory, evolution and ecological consequences for seasonality and diapause control.* (eds. by Danks, H. V.; Masaki, S.) pp. 69-89. Kluwer Academic Publ.
- 4) Iwasa, Y.; Pomiankowski, A. (1994) Evolution of mate preferences for multiple sexual ornaments. *Evolution* 48: 853-867.
- 5) 巖佐庸 (1994) 植物の成長と繁殖に関する進化生態学の数理. In: 植物の自然史 - 多様性の進化化学 (eds. by 岡田博; 植田邦彦; 角野康郎) pp. 89-105. 北海道大学出版会.
- 6) 巖佐庸 (1994) 美の進化: 性淘汰のパラドックス. In: 生命・情報・数理 数理科学別冊 (数理科学 (1990年) 326: 39-45の再録) pp. 113-120. サイエンス社.
- 7) 山岸哲; 巖佐庸 (1994) 監訳. In: 進化からみた行動生態学 (原著第3版) (eds. by J.R. クレブス; N.B. デイビス, 1991). 蒼樹書房.
- 8) 巖佐庸; 佐藤一憲; 久保拓弥 (1994) 森林群集の数理的解析. *森林科学* 10: 19-23.

- 9) 江副日出夫; 巖佐 庸 (1994) 餌の最適な利用から昆虫の季節性を考える: 孵化と蛹化の時期について. *インセクタリアム* 31: 88-92.
- 10) 巖佐 庸 (1994) 生命現象は一般的定式化がどこまでできるか? *日本機械学会誌* 97: 395-398.
- 11) 久保拓弥; 巖佐庸; 原田祐子 (1994) 植物集団の栄枯盛衰を格子モデルで調べる. *遺伝* 48: 26-31.
- 12) 巖佐庸; 久保拓弥; 松田裕之 (1994) 生物集団の絶滅はどのように起こるのか? 分子系統樹から絶滅率を推定する. *科学* 64: 675-683.
- 13) タナカノリュキ; 巖佐 庸 (1994) アート&サイエンス・思考する洞窟4 (対談) . *月刊PLAYBOY* 1994年7月号 182-189.
- 14) Harada, Y.; Iwasa, Y. (1994) Lattice population dynamics for plants with dispersing seeds and vegetative propagation. *Researches on Population Ecology* 36: 237-249.

KAWABATA, Keiichi 川幡佳一 _____

- 1) Kawabata, K.; Defaye, D. (1994) Description of planktonic copepods from Lake Kahoku-gata, Japan. *Jpn. J. Limnol.* 55: 143-158.
- 2) 川幡佳一 (1994) 湖沼生態系における生物多様性評価の試み. *日本生態学会誌* 44: 223-228.

KIMURA, Masato 木村真人 _____

- 1) Watanabe, A.; Kimura, M.; Kasuya, M.; Kotake, M.; Katoh, T. (1994) Methane in groundwater used for Japanese agriculture: Its relation-ship to other physico-chemical properties and possible tropo-spheric source strength. *Geophys. Res. Letters* 21(1): 41-44. [メタン、地下水、地球環境]
- 2) Murase, J.; Kimura, M. (1994) Methane production and its fate in paddy fields. IV. Sources of microorganisms and substrates responsible for anaerobic CH₄ oxidation in subsoil. *Soil Sci. Plant Nutr.* 40(1): 57-61. [メタン、酸化、水田、地球環境]
- 3) Jernsawatdipong, P.; Murase, J.; Prabuddham, P.; Hasathon, Y.; Chinda, M.; Chaiwatana, B.; Khomthong, N.; Sattawatananon, S.; Naklang, K.; Watanabe, A.; Haraguchi, H.; Kimura, M. (1994) Methane emission from plots with differences in fertilizer application in Thai paddy fields. *Soil Sci. Plant Nutr.* 40(1): 63-71. [メタン、水田、タイ国、地球環境]
- 4) Murase, J.; Topark-ngarm, B.; Adachi, T.; Losirikul, M.; Kimura, M. (1994) Studies on saline soils in Khon Kaen region, Northeast Thailand. V. Nitrification and nitrifying bacteria. *Soil Sci. Plant*

Nutr. 40(1): 173-177. [塩類化、土壌、タイ国、地球環境]

- 5) 豊田剛己; 木村真人 (1994) *Fusarium oxysporum* f. sp. *raphani* 厚膜胞子 付着菌の他の病原性フザリウム菌に対する付着能及び拮抗能. 土と微生物 43: 1-8. [Fusarium病、厚膜胞子、細菌、拮抗]
- 6) Toyota, K.; Miyashita, K.; Kimura, M. (1994) Introduction of a chitinase gene into *Pseudomonas stutzeri* A18 isolated from the surface of chlamydo spores of *Fusarium oxysporum* f. sp. *raphani*. Soil Biol. Biochem. 26(3): 413-416. [Fusarium病、キチナーゼ、厚膜胞子、拮抗能]
- 7) Watanabe, K.; Murase, J.; Katoh, K.; Kimura, M. (1994) Methane production and its fate in paddy fields. V. Fate of methane remaining in paddy soil at harvesting stage. Soil Sci. Plant Nutr. 40(2): 221-230. [メタン、水田、turn over time]
- 8) Nugroho, S. G.; Lumbanraja, J.; Suprpto, H.; Sunyoto; Ardjasa, W. S.; Haraguchi, H.; Kimura, M. (1994) Methane emission from an Indonesian paddy field subjected to several fertilizer treatments. Soil Sci. Plant Nutr. 40(2): 275-281. [メタン、水田、インドネシア、地球環境]
- 9) Toyota, K.; Kimura, M. (1994) Earthworms disseminate a soil-borne plant pathogen, *Fusarium oxysporum* f. sp. *raphani*. Biol. Fertil. Soil 18: 32-36. [ミミズ、Fusarium菌、散布]
- 10) Toyota, K.; Yamamoto, K.; Kimura, M. (1994) Mechanisms of suppression of *Fusarium oxysporum* f. sp. *raphani* in soils so-called suppressive to Fusarium-Wilt of radish. Soil Sci. Plant Nutr. 40(3): 373-380. [抑止型土壌、Fusarium病]
- 11) Toyota, K.; Yamamoto, K.; Kimura, M. (1994) Isolation and characterization of bacteria responsible for the suppression of *Fusarium oxysporum* f. sp. *raphani* on the host rhizoplane. Soil Sci. Plant Nutr. 40(3): 381-390. [Fusarium病、拮抗菌、根面、大根]
- 12) Watanabe, A.; Katoh, K.; Kimura, M. (1994) Effect of rice straw application on CH₄ emission from paddy fields. III. Effect of incorporation site of rice straw on CH₄ emission rates and their variation among shoots of a rice plant. Soil Sci. Plant Nutr. 40(3): 497-504. [メタン、水田、稲ワラ、地球環境]
- 13) Murase, J.; Kimura, M. (1994) Methane production and its fate in paddy fields. VI. Anaerobic oxidation of methane in plow layer soil. Soil Sci. Plant Nutr. 40(3): 505-514. [メタン、水田作土、酸化、地球環境]
- 14) Minoda, T.; Kimura, M. (1994) Contribution of photosynthesized carbon to the methane emitted from paddy fields. Geophys. Res. Letters 21(18): 2007-2010. [メタン、起源、¹³C、光合成産物]
- 15) Yuan, H.; Toyota, K.; Watanabe, A.; Kimura, M. (1994) Changes of chemical properties and microbial succession of lignites with weathering. Bull. Jpn. Soc. Microb. Ecol. 9(2): 45-53. [lignite、微生物遷移、風化]

- 16) Nugroho, S. G.; Lumbanraja, J.; Suprpto, H.; Sunyoto; Ardjasa, W. S.; Haraguchi, H.; Kimura, M. (1994) Effect of intermittent irrigation on methane emission from an Indonesian paddy field. *Soil Sci. Plant Nutr.* 40(4): 609-615. [メタン、水田、インドネシア、地球環境]
- 17) Murase, J.; Kimura, M. (1994) Methane production and its fate in paddy fields. VII. Electron acceptors responsible for anaerobic methane oxidation. *Soil Sci. Plant Nutr.* 40(4): 647-654. [メタン、水田、嫌氣的酸化、地球環境問題]

KOHDA, Masanori 幸田 正典

- 1) Kohda, M.; Mboko, S. K. (1994) Territorial attacks against larger heterospecific intruders in cichlid fishes in Lake Tanganyika. *Afr. Stud. Monogr.* (in press)
- 2) Kohda, M.; Tanimura, M.; Kikue-Nakamura, M.; Yamagishi, S. (1994) Sperm drinking by female catfishes: a novel mode of insemination. *Env. Biol. Fish* 42: 1-6.
- 3) Kohda, M. (1994) Individual specialized foraging repertoires in the piscivorous cichlid fish, *Lepidolamprologus profundicola*. *Anim. Behav.* 48: 1123-1131.
- 4) Mboko, S. K.; Kohda, M. (1994) Pale and dark dichromatism related to microhabitat in a herbivorous Tanganyikan cichlid fish, *Telmatochromis temporalis*. *J. Ethol.* (in press)

KOIZUMI, Hiroshi 小泉 博

- 1) Mariko, S.; Bekku, Y.; Koizumi, H. (1994) Effect of carbon dioxide from snow-covered forest floors. *Ecol. Res.* 9: 343-350. [closed chamber method, CO₂ flux, CO₂ profile, snowpack, soil respiration]
- 2) Tang, Y.; Koizumi, H.; Satoh, M.; Washitani, I. (1994) Photosynthesis and carbon gain during lightflecks in *Quercus serrata* seedlings growing under artificial sunflecks and constant light regimes. *Oecologia* 100: 463-469. [carbon gain, induction, sunflecks, photosynthesis, temperate plant]
- 3) 小泉 博 (1994) 北極域の植生 - 土壌系における二酸化炭素の動態. 北極圏総合研究シンポジウム論文集 (科学技術庁). pp. 215-220. [炭素収支、土壌呼吸速度、フィンランド、北極域]
- 4) 小泉 博 (1994) フィンランドの耕地土壌から放出される二酸化炭素量. 農業環境成果情報 (農業環境技術研究所) 10: 23-24. [耕地土壌、土壌呼吸、北極域]

- 1) 福原修一; 田部雅昭; 近藤高貴; 河村章人 (1994) 淡水二枚貝ドブガイに見られる遺伝的2型の繁殖期. 貝類学雑誌 53: 37-42.
- 2) 近藤高貴 (1994) 絶滅の危機にある淡水貝類. 貝類学雑誌 53: 156-158.

- 1) 森 豊彦 (1994) 都市住宅地のチョウのピオトープ. In: 都市と自然3月号. pp. 4-5. 大阪市自然環境保全協会.
- 2) 森 豊彦 (1994) 都市と里山からみた生き物共生学. 自然保護と昆虫研究者の役割V講演・寄稿論文集. pp. 29-39. 日本昆虫学会第54回大会・第38回日本応用動物昆虫学会合同大会小集会呼び掛け人.
- 3) Ikawa, T.; Okabe, H.; Mori, T.; Urabe, K.; Ikeshoji, T. (1994) A method for reconstructing three dimensional positions of swarming mosquitos. *Journal of Insect Behavior*. 7(2): 237-248.
- 4) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(1) 移住地の印象と環境問題への序章 (第1回) CAICO NEWS 第159号: 9. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 5) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(1) 移住地の印象と環境問題への序章 (第2回) CAICO NEWS 第160号: 5. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 6) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(2) 農薬汚染 (第3回) CAICO NEWS 第161号: 7. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 6) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(3) 森林保全は農業を守る (第4回) CAICO NEWS 第162号: 14. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 7) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(4) 牧畜による有機肥料と土壌動物環境保全 (第5回) CAICO NEWS 第163号: 9. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 8) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(5) 灌漑農業と洪水・干ばつ: オキナワ移住地編 (第6回) CAICO NEWS 第166号: 14. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 9) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(6) 灌漑農業と洪水・干ばつ: サン・ファン移住地編 (第7回) CAICO NEWS 第167号: 11. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 10) 森 豊彦 (1994) 農業と環境(7) 生物多様性の保全 (1) JICAの環境への歩み (第8回) CAICO NEWS 第168号: 13. コロニア沖縄農牧総合共同組合, Santa Cruz, Bolivia.
- 11) Kobayashi, M.; Shinohara, Y.; Mori, T.; Arroyo, L. (1994) Desarrollo de la tecnica para control de enfermedades e insectos. C. I. A. T. Informe No. 8 (2): 405-421.

MORINO, Hiroshi 森野 浩

- 1) Morino, H. (1994) The phylogeny of *Jesogammarus* species (Amphipoda: Anisogammaridae) and life history features of two species endemic to Lake Biwa, Japan. Arch. Hydrobiol. Beih. Ergebn. Limnol. 44: 257-266. [phylogeny, life history, Amphipoda, *Jesogammarus*, Lake Biwa]
- 2) Morino, H. (1994) Talitridae (Crustacea: Amphipoda) from the Northern Mariana Islands, Micronesia. Nat. Hist. Res.; Special Issue 1: 263-264. [Talitridae, Mariana Islands]
- 3) 森野 浩 (1994) 多様なヨコエビ類をめぐって. In: バイカル湖 - 古代湖のフィールドサイエンス. (eds. by 森野 浩; 宮崎信之) . pp. 137-166. [バイカル湖、ヨコエビ類]
- 4) 森野 浩 (1994) アジア、太平洋地域における地球環境問題に対する関西の環境協力のあり方 [報告書集]. 地球環境関西フォーラム. pp. 37. [地球環境問題、国際協力、ロシア]
- 5) 森野 浩; Kamaltynov, R.; 益子計夫 (1994) バイカル湖ヨコエビの分類と分布の研究. In: バイカル湖における動物群集と進化系統学、環境変動の研究. 1992年度、1993年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書. (ed. by 沼知健一) pp. 71-79. [バイカル湖、ヨコエビ類、分布]
- 6) 益子計夫; Kamaltynov, R.; Shervakov, D.; 森野 浩 (1994) アロザイムによるヨコエビ *Eulimnogammarus cyaneus* 集団の遺伝的構造の解析. In: バイカル湖における動物群集と進化系統学、環境変動の研究. 1992年度、1993年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書 (ed. by 沼知健一) pp. 84-92. [バイカル湖、ヨコエビ類、集団遺伝学]

MUKAI, Hiroshi 向井 宏

- 1) 向井 宏 (1994) 藻場 (海中植物群落) の生物群集 [2] - 葉状体の上の生活. 海洋と生物. 16 (1):19-22.
- 2) 菊地永祐; 向井 宏 (1994) 生物攪拌 ベントスによる環境改変 (総説). 日本ベントス学会誌 46: 59-79.
- 3) 小池勲夫; 向井 宏 (1994) 熱帯海草藻場における生物群集と物質循環. 学術月報 47 (4):353-358.
- 4) 向井 宏 (1994) 藻場 (海中植物群落) の生物群集 [3] - 葉上生物群集のオーガニゼーション. 海洋と生物 16 (2): 99-102.
- 5) 向井 宏 (1994) 藻場 (海中植物群落) の生物群集 [4] - 大型海藻と葉上性植物の相互作用. 海洋と生物 16 (3): 186-189.
- 6) 向井 宏 (1994) 藻場 (海中植物群落) の生物群集 [5] - 藻場構成植物と葉上性動物の相互作用. 海洋と生物 16 (4): 276-281
- 7) 小倉紀雄; 高田秀重; 向井 宏 (1994) 1. 沿岸の汚染機構 日本海洋学会編. In: 海洋環境問題の変

遷と課題 - 海洋環境を考える. pp. 1-193. 恒星社厚生閣 pp. 3-12.

- 8) 向井 宏 (1994) 藻場 (海中植物群落) の生物群集[6] - 葉上性動物の豊富さと多様性. 海洋と生物 16 (6): 460-463.
- 9) 向井 宏 (1994) 沿岸堆積物境界層におけるデトリタス食物連鎖と有機物の分解過程. (ed. by 小池勲夫) 平成5年度科学研究補助金 一般研究 (B) 研究成果報告書. pp. 37-49.
- 10) Aioi, K.; Koike, I.; Mukai, H.(1994) Comparison in rhizome growth of the two tropical seagrass species, *Thalassia hemprichii* and *Syringodium isoetifolium*. In: Developmental Processes and Material Flow in Tropical Seagrass Beds. (ed. by Koike, I.) pp. 8-18. Ocean Research Institute, Univ. of Tokyo.
- 11) Mukai, H.; A. Iijima (1994) Grazing effect of a gammaridean amphipod, *Ampithoe* sp.; on the seagrass, *Syringodium isoetifolium*, and epiphytes in a tropical seagrass bed in Fiji. In: Developmental Processes and Material Flow in Tropical Seagrass Beds. (ed. by Koike, I.) pp. 91-129. Ocean Research Institute, Univ. of Tokyo.
- 12) 菊地永祐; 向井 宏 (1994) 海底境界層のN, O代謝に対する底生動物の作用 - 現場コア法による実験. 平成5年度海底境界層予測手法に関する調査研究報告書. 産業環境管理協会 pp. 81-84
- 13) 菊地永祐; 向井 宏 (1994) マクロベントス基礎代謝実験. 平成5年度海底境界層予測手法に関する調査研究報告書. 産業環境管理協会. pp. 67-80.

NAKAGOSHI, Nobukazu 中越信和

- 1) 中越信和 (1994) 景観生態学における森林群集のありかた. 森林科学 10: 28-34. [森林群集、景観生態学]
- 2) 頭山昌郁; 中越信和 (1994) 植林地と二次林における土壌動物相の比較. 日生態会誌 44: 21-31. [生物群集、人為]
- 3) 中越信和; 石井正人 (1994) 都市近郊における森林公園計画. 日本緑化工学会誌 19: 303-309. [環境計画、森林公園]
- 4) 頭山昌郁; 中越信和 (1994) 都市緑地の構造とアリ類の棲息. 日本緑化工学会誌 20: 13-20. [生物群集、都市緑地]
- 5) 井田秀行; 中越信和 (1994) ササ草原における温帯夏緑樹林の更新: ブナ林 - ミズナラ林 - ササ草原の帯状分布の形成過程. 日生態会誌 44: 271-281. [森林の更新、温帯林]
- 6) 中越信和; 山崎新太郎; 須貝紀彦; 石井正人; 平川法義 (1994) ブナ科植物の実生による環境林の創出. 日本林学会論文集 105: 263-265. [復元生態学]

- 7) 中越信和; 松田方典; 石井正人 (1994) 広島県緑化センター及び県立緑化植物公園内の植生. 日本林学会論文集 105: 267-270. [植生、森林公園]
- 8) 和田秀次; 中越信和 (1994) 温帯林の遷移と構造. 日本林学会論文集 105: 271-274. [森林の更新、温帯林]
- 9) 中越信和; 石井正人; 和田秀次; 松田方典 (1994) 西日本を代表する森林型の育成. 広島大学総合科学部紀要IV. 20: 95-112. [復元生態学、森林公園、森林問題]
- 10) Nehira.K.; Nakagoshi, N. (1994) Development processes of bryophyte communities on rocks and logs placed at floor in temperate forests. Hikobia 11: 499-503. [コケ群落、林床]

NAGANO, Yoshiharu 長野義春

- 1) 長野義春 (1994) 鳥にとっての河川とは. なきごえ 30: 1. [鳥、多自然型河川工法]
- 2) 長野義春 (1994) 里山管理と鳥類その課題. 関西自然保護機構会報 16 (1): 1. [里山、ボランティア、物質循環]
- 3) 長野義春 (1994) 二次林管理での鳥のソングポストは変わるか? 日本鳥学会 1994年度大会講演要旨集: 36. [里山管理、二次林、ソングポスト]
- 4) 長野義春 (1994) 里山管理と鳥類その後の課題. 日本鳥学会 1994年度大会講演要旨集: 127. [里山、ランドスケープエコロジー、二次林管理]
- 5) 長野義春; 小川裕美子 (1994) 動物の接近に対するナベヅルとマナヅルの反応. Strix 13: 165-171. [ナベヅル、マナヅル、動物の干渉]
- 6) 上田恵介; 長野義春; 守屋年史; 江崎正裕; 小川裕美子 (1994) トカラ列島中之島びおけるヤマシギの生息状況. Strix 13: 79-84. [ヤマシギ、トカラ列島中之島、夜間センサス]

NAKASHIZUKA, Tohru 中静透

- 1) 中静透 (1994) 森林群集はどこまで解明されたか - 樹木個体群の解析から. 森林科学 10: 14-18.
- 2) Masaki, T.; Kominami, Y.; Nakashizuka, T. (1994) Spatial and seasonal patterns of seed dissemination of *Cornus controversa* in a temperate forest. Ecology 75: 1903-1910.
- 3) Nakashizuka, T.; Yasuhara, K.; Iida, S. (1994) Forest fragmentation and plant species diversity in temperate deciduous forest. In: Biodiversity, its Complexity and Role. (eds. by Yasuno, M.; Watanabe, M. M.) Global Environmental Forum, Tokyo. pp. 149-158.

- 4) Nakashizuka, T. (1994) Disturbance regimes of temperate deciduous forests in Japan. Proceedings of NAFRO Seminar on Sustainable Forestry and its Biological Environment, pp. 103-107.

NISHIMURA, Noboru 西村 登

- 1) 西村 登 (1994) 魚の川・川虫の川・人の川 - 自然に学ぶ川づくりを探る - . 関西自然保護機構会報 16: 56-67
- 2) 西村 登 (1994) 岩田正俊博士の水生昆虫に関する業績目録. 兵庫陸水生物 44: 21-22
- 3) 西村 登 (1994) 揖保川に現存する伝統的な堰について. 兵庫陸水生物 45: 30.

OHTAKA, Akifumi 大高明史

- 1) Ohtaka, A. (1994) Redescription of *Embolocephalus yamaguchii* (Brinkhurst, 1971), comb. nov. (Oligochaeta, Tubificidae). Proc. Japan. Soc. Syst. Zool. 52: 34-42. [Oligochaeta, Tubificidae, Taxonomy, Lake Biwa]

ONOYAMA, Keiichi 小野山敬一

- 1) 小野山敬一; 寺山守 (1994) 日本産アリ類文献目録. iii+50pp. 日本蟻類研究会, 東京.
- 2) 日本蟻類研究会 (1994) 編集. 日本産アリ類カラー画像データベース.
<http://www.dna.affrc.go.jp/htdocs/Ant.WWWW/htmls/index.html>.
- 3) 小野山敬一 (1994) 類似性と「みにくいアヒルの子の定理」EVOLVE version - その1. EVOLVE (120).
- 4) 小野山敬一 (1994) 類似性と「みにくいアヒルの子の定理」EVOLVE version - その2. EVOLVE (131).
- 5) 小野山敬一 (1994) Hierarchy theory in ecology. EVOLVE (141).
- 6) 小野山敬一 (1994) Ecology and classical vs new philosophy of science. EVOLVE (147).
- 7) 小野山敬一 (1994) A critique of the Japanese translation of McIntosh, "The background of ecology". EVOLVE (153).
- 8) 小野山敬一 (1994) E. Mayr and the problem of species, etc. EVOLVE (191).

SAIGUSA, Masayuki 三枝誠行

- 1) Saigusa, M (1994) A substance inducing the loss of premature embryos from ovigerous crabs. Biol. Bull. 186: 81-89.
- 2) 三枝誠行 (1994) 野鳥の生息調査に基づく野山の環境評価の試み. 岡山大学教養部紀要 35: 77-92.
- 3) 三枝誠行 (1994) 海洋環境における生物の同期性とその機構. イマゴ 5: 72-82.
- 4) 三枝誠行 (1994) 潮汐リズムの位相発現に関するいくつかの話題 海洋と生物. 16(5): 413-419.

SAKAMOTO, Kazunori 坂本一憲

- 1) Sakamoto, K. ; Oba, Y. (1994) Effect of fungal to bacterial biomass ratio on the relationship between CO₂ evolution and total soil microbial biomass. Biol. Fertil. Soils 17: 39-44. [Soil microbial biomass, Soil fungal biomass, Soil bacterial biomass, CO₂ evolution, Metabolic quotient]
- 2) 坂本一憲; 竹内 伸; 吉田富男 (1994) 各種土壌におけるベンゾ (a) ピレンの消失機構. 千葉大園学報 48: 9-12. [ベンゾ (a) ピレン、環境発ガン物質、揮発、微生物分解、土壌]

SAKAMOTO, Wataru 坂本 亘

- 1) 坂本 亘; 澤田好史 (1994) 生物装着型記録計. 海洋 27: 26-31. [トラッキング、マイクロデータロガ、生物行動解析]
- 2) 坂本 亘 (1994) 海洋物理「現在の水産学; 日本水産学会出版委員会編」. pp. 211-218. 厚生社恒星閣, 東京. [懸濁物、海底境界層、内部潮汐、乱流]
- 3) 澤田好史; 藤原建紀; 坂本 亘 (1994) 個体の遊泳行動に基づくカイアシ類個体群の分布モデル. 海の研究. 3: 169-180. [動物プランクトン、ランダム歩行、数理解析、分布密度]
- 4) 藤原建紀; 速水祐一; 坂本 亘 (1994) 超音波ドップラー流速プロファイラーによって測られた琵琶湖の流動の鉛直構造. 海岸工学論文集 41: 296-300. [三次元流動、ドップラー流速計、琵琶湖]
- 5) Hakoyama, H.; B. J. Le Boeuf,; Naito, Y.; Sakamoto, W. (1994) Diving pattern of northern elephant seals in correlation to surface water temperatures. J. Can. Zool 72: 643-651. [キタゾウアザラシ、マイクロデータロガ、大規模回遊、北太平洋]
- 6) Sato, K.; Sakamoto, W.; Matsuzawa, Y.; Tanaka, H.; Naito, Y. (1994) Correlation between stomach

temperatures and ambient water temperatures in free-ranging loggerhead turtles, *Caretta caretta*.
Marine Biology 118: 343-351. [アカウミガメ、回遊、マイクロデータロガ]

SUGIYAMA, Yukimaru 杉山幸丸

- 1) Sugiyama, Y. (1994) Tool use by wild chimpanzees. *Nature* 367: 327.
- 2) Sugiyama, Y. (1994) Age specific birth rate and lifetime reproductive success of chimpanzees at Bossou, Guinea. *American J. Primatol.* 32(4): 311-318.
- 3) Muroyama, Y.; Sugiyama, Y. (1994) Grooming relationships in two species of chimpanzees. In: *Chimpanzee Cultures*. (eds. by Wrangham, R. W.; McGrew, W. C.; deWaal, F. B. M.; Heltne, P. G.) pp. 169-180. Harvard Univ. Press, Cambridge (Mass)
- 4) 杉山幸丸 (1994) 「霊長類研究」の研究. *霊長類研究* 10(2): 105-112.
- 5) 杉山幸丸 (1994) IPSの窓: 大会の運営と学会の活動について - 第15回国際霊長類学会大会から. *霊長類研究* 10(2): 113-117.

SWEDA, Tatsuhiko 末田達彦

- 1) 末田達彦 (1994) 第三紀周極森林群と地球温暖化. In: *日本学術会議シンポジウム 地球環境史の中の森林 講演要旨集*. pp. 1-10.
- 2) 末田達彦 (1994) 根上り台木などによる過去千五百年の標準年輪曲線の作製と気候復元. 平成3~5年度科学研究費補助金 (一般研究C) 研究成果報告書. vi+18 pp.
- 3) 末田達彦; 熊谷博之 (1994) 木曾ヒノキ標準年輪曲線に見る火山噴火の気候的影響. 第105回日本林学会大会講演要旨集: 265.
- 4) Abraham, E. R. G.; Sweda, T. (1994) *Global Forest Resources Analysis (I) - Country Classification*. 第105回日本林学会大会講演要旨集: 502.
- 5) 太田誠一; 末田達彦 (1994) 古土壌から見た北極カナダの第三紀化石林の成立と衰退. 第105回日本林学会大会講演要旨集: 283.
- 6) Sweda, T. (1994) Volcanic influence upon climate as evidenced in an 800-year-long Japanese dendrochronology. *Proc. Int'l Conference on Tree Rings, Environment, and Humanity. Relationships and Processes*: 46.
- 7) Sweda, T. (1994) Dendroclimatological Reconstruction for the Last Sub-millennium in Central Japan. *Terrestrial, Atmospheric and Oceanic Sci.* 5(3): 431-442.

- 8) 末田達彦 (1994) 訳. アメリカ合衆国における林学研究の動向 (Trends in Forestry Research in the USA, Howard B. Kriebel) . 森林科学 12: 65-68.
- 9) 末田達彦 (1994) 地球環境と森林研究の境界領域. <特集> In: 林学のあり方 シンポジウム報告: 林学の中期戦略 - 西暦2000年における林学像の提案. 森林科学 12: 13-32.
- 10) Abraham, E.R.G.; Sweda, T. (1994) Global Forest Resources Analysis (I) — Country Classification. 日林論 105: 123-124.
- 11) Basinger, J. F.; Greenwood, D. G.; Sweda, T. (1994) Early Tertiary vegetation of Arctic Canada and its relevance to paleoclimatic interpretation. In: Cenozoic Plants and Climates of the Arctic, (eds. by Boulter, M. C.; Fisher, H. C.) NATO ASI Series 127. Springer-Verlag. pp. 175-198.

TAKAMURA, Noriko 高村典子

- 1) Takamura, N.; Iwata, K.; Fang, G.; Zhu, X.; Shi, F. (1994) Feeding habitats of mixed cyprinid species in a chinese integrated fish culture pond: changes in planktivorous density induces feeding changes in planktivorous carps. Jpn. J. Limnol. 55: 131-141.
- 2) Takamura, N.; Nojiri, Y. (1994) Picophytoplankton biomass in relation to lake trophic state and the TN:TP ratio of lake water in Japan. J. Phycol. 30: 439- 444.
- 3) Otsuki, A.; Omi, T.; Hashimoto, S.; Aizaki, M.; Takamura, N. (1994) HPLC fluorometric determination of natural phytoplankton phycocyanin and its usefulness as cyanobacterial biomass in highly eutrophic shallow lake. Water, Air and Soil Pollution 76: 383-396.
- 4) 高村典子 (1994) 湖沼におけるピコプランクトン. グローバルネット 41: 28-29
- 5) 高村典子 (1994) 霞ヶ浦の植物プランクトン. In: ひとと湖のかかわり 霞ヶ浦. (ed. by 霞ヶ浦研究会) pp. 30-34

TODA, Hideshige 戸田任重

- 1) Toda, H.; Yagi, K.; Yoh, M.; Takeuchi, M. (1994) Measurement of methane and nitrous oxide emissions from the peatlands in northern Quebec, Canada. Polar Biology 7: 237-242. [methane, nitrous oxide, peat, Quebec]
- 2) 戸田任重; 松本英一; 宮崎龍雄; 芝野和夫; 川島博之 (1994) 灌漑用溜池における硝酸態窒素の消失. 日本土壌肥料学会誌 65: 266-273. [硝酸態窒素、脱窒、溜池]

- 1) Yamamoto, S. (1994) Seedling establishment of *Chamaecyparis pisifera* on different substrata in an old-growth *C. pisifera* stand, Akasawa Forest Reserve, Central Japan. *Journal of the Japanese Forestry Society* 76: 178-181.
- 2) Yamamoto, S.; Itow, S. (1994) Studies in the evergreen broad-leaved forest of Tatera Forest Reserve, Tsushima, Japan. V. Canopy gaps and gap regeneration in mature stands. *Bulletine of the Faculty of Liberal Arts, Nagasaki University (Natural Science)* 35(1): 17-26.
- 3) Moriyama, Y.; Yamamoto, S. (1994) Occurrence pattern and size structure of clonal patches of *Chamaecyparis pisifera* under a closed canopy and a canopy gap in an old-growth *C. pisifera* forest. *Journal of the Japanese Forestry Society* 76: 426-432.
- 4) Yamamoto, S.; Moriyama, Y.; Kobayashi, M. (1994) Two types of vegetative reproduction of *Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endl. *Japanese Journal of Forest Environment* 36: 57-59.
- 5) Yamamoto, S.; Suto, A. (1994) Occurrence pattern of *Thujopsis dolabrata* saplings in the understory of an old-growth *Chamaecyparis* forest, Akasawa Forest Reserve, Central Japan. *Journal of the Japanese Forestry Society* 76: 553-559.
- 6) Yamamoto, S. (1994) Gap regeneration in primary evergreen broad-leaved forests with or without a major canopy tree, *Distylium racemosum*, southwestern Japan: a comparative analysis. *Ecological Research* 9: 295-302.

- 1) Toda H.; Yagi, K.; Yoh, M.; Takeuchi, M. (1994) Measurement of methane and nitrous oxide emissions from the peatlands in northern Quebec, Canada. *Proc. NIPR Symp. Polar Biol.* 7: 237-242.
- 2) 楊宗興 (1994) ガス分析による地下水中脱窒量の評価手法. 第11回土・水研究会資料 pp. 49-61.
- 3) Yoh, M.; Takeuchi, M.; Kanda, K.; Tsuruta, H. (1994) Application of diffusion model to determine N_2O flux and its production in fertilized soil. *International Workshop on CH_4 and N_2O in Asia Countries -Emissions and Control in Agricultural Fields.* pp. 57-58.
- 3) 楊宗興 (1994) 亜酸化窒素. In: 土壌圏と大気圏 土壌生態系のガス代謝と地球環境. (ed. by 陽捷行) pp. 85-105. 朝倉書店, 東京.

- 1) Yoshioka, T.; Wada, E.; Hayashi, H. (1994) A stable isotope study on seasonal food web dynamics in a eutrophic lake. *Ecology* 75: 835-846.
- 2) 吉岡崇仁 (1994) 生態物質循環系における安定同位体の分布. In: 微生物の生態 19巻 (ed. by 日本微生物生態学会) . pp. 139-160. 学会出版センター, 東京.
- 3) Yoshioka, T.; Sekiyama, N. (1994) Biochemical composition of freshwater plankton. In: Estimation of Water and Overland Ecological System - Ecological Problems of the Baikal Region. (eds. by Kozova, O. M.; Bokova, I. K.) pp. 51-57. Nauka, Novosibirsk.

シンポジウム、セミナー、研究会等

第33回 生態研セミナー

A new climate-based global model for phenophysiognomic potential natural vegetation

Elgene O. Box (Univ. Georgia, 東京大学客員教授)

1994年4月1日

京都市 楽友会館

参加者：70名

生態研センター 創立3周年記念公演会

「生命の多様性を求めて」

1994年4月9日

大津市 市民会館

参加者：130名

第34回 生態研セミナー

Two examples of effects on biodiversity - cross European canal and sea cucumber exploitation

Eagene K. Balon (Univ. Guelph)

1994年4月22日

京都市 楽友会館

参加者：60名

第35回 生態研セミナー

植物のサイズ分布モデルの視野：個体機能から植生帯動態の予測まで

甲山隆司（京大生態研センター）

1994年5月13日

京都市 楽友会館

参加者：40名

第36回 生態研セミナー

ハウビシダ類（チャセンシダ科）の分子分類と進化

村上哲明（東大理学部附属植物園）

1994年5月27日

京都市 楽友会館

参加者：40名

第37回 生態研セミナー

ナミテントウ野外個体群の生態学的研究

大沢直哉（京大生態研センター）

1994年6月3日

京都市 楽友会館

参加者：40名

第38回 生態研セミナー
生態系の自己組織化プロセスについて
東 正彦（京大生態研センター）
1994年6月17日
京都市 楽友会館
参加者：40名

第39回 生態研セミナー
Simulating the responses of Jamaican montane forests to hurricanes
Peter J. Bellingham（京大生態研センター）
1994年7月8日
京都市 楽友会館
参加者：40名

第3回国際夏期セミナー「地球環境と生態学」
代表者 田端英雄（京都大学）
1994年7月12日～15日
大津市 生態学研究センター
参加者：講師20名、受講者（海外）4名

公募実習「送粉生態学の基礎テクニック実習」
代表者 湯本貴和（神戸大学）
1994年7月19日～22日
兵庫県氷ノ山＜ブナ自然林＞
参加者：講師1名、受講者4名

第40回 生態研セミナー
琵琶湖における生物・化学・物理相互作用 - BITEX観測から -
中西正己（京大生態研センター）・紀本岳志（紀本電子）・熊谷道夫（滋賀県琵琶湖研究所）
1994年7月22日
京都市 楽友会館
参加者：40名

第41回生態研セミナー
植物の誘導的間接防衛・化学生態学からのアプローチ
高林純示（京都大学農学部）
植物の被食防御戦略の理論
山村則男（佐賀医科大学医学部）
1994年9月30日
京都市 京大理学部
参加者：60人

第42回生態研セミナー
托卵鳥系の共進化の理論的研究
高須夫悟（奈良女子大学理学部）

寿命か効率か?-生育期間の制約が葉の特性に及ぼす影響について-

工藤岳 (北海道大学大学院地球環境科学研究科)

1994年10月7日

京都市 京大理学部

参加者: 50名

生態研セミナー 特別講演

Instrumental multielement analysis of plants: analytical problems and ecological possibilities

Bernd Markert (Chair to Environmental High Tecnology and Director of the Internationales

Hochschul Institute

Zittau, Germany)

1994年10月14日

京都市 京大理学部

参加者: 50名

第43回生態研セミナー

多年生草本における競争と群集動態

原登志彦 (東京都立大学理学部)

水界生態学における科学量論の展開: 古くて新しいパラダイム

占部城太郎 (東京都立大学理学部)

1994年10月24日

京都市 京大理学部

参加者: 55名

第44回生態研セミナー

下等シロアリにおける共生系

井上徹志 (京都大学理学部)

社会性進化および血縁選択-理論と実証-

斉藤裕 (北海道大学農学部)

1994年11月4日

京都市 京大理学部

参加者: 60名

公募研究会「林床から森林動態を考える(2)-ササの生活史をいかに理解すべきか」

代表者 大島康行(早稲田大学)

1994年11月12日~13日

京都市 楽友会館

参加者: のべ60名、実30名

第45回生態研セミナー

生態学的近傍と遺伝学的近傍

河田雅圭 (静岡大学教育学部)

多種共存系としての植物群の生産構造

広瀬忠樹 (東北大学理学部)

1994年11月18日

京都市 京大理学部

参加者：50名

公募研究会「河川の微地形と生物群集の動的関係に関する研究会」

代表者 谷田一三（大阪府立大学）

1994年11月18日～19日

京都府北桑田郡 京都府立ゼミナールハウス

参加者：のべ64名、実32名

生態研セミナー 特別講演

Soil-feeding and the evolution of the morphology and function of the termite gut"

David E. Bignell (Queen Mary & Westfield College: University of London)

1994年11月21日

京都市 京大理学部

参加者：60名

公募研究会「生物多様性・物質循環・環境変遷を考える - バイカル湖での融合をめざして」

代表者 吉岡崇仁（名古屋大学）

1994年11月22日

京都市 楽友会館

参加者：13名

国際ワークショップ・公募研究会「極東寒帯生態系研究の展望 - 21世紀のパラダイムを拓く -」

代表者 和田英太郎（京都大学）

1994年11月23日～25日

京都市 京大会館

参加者：海外9名、国内41名

生態研セミナー 特別講演

Walter Bock (Department of Biological Sciences: Columbia University)

Ernst Mayer (Museum of Comparative Zoology: Harvard University)

1994年11月25日

京都市 楽友会館

参加者：250名

公募研究会「冬眠する哺乳類の生態学的機能と生理的機能の統一的理解」

代表者 川道武男（大阪市立大学）

1994年11月26日

東京都 芝青年会館

参加者：60名

第46回生態研セミナー

人口生物集団を用いた生物多様性の創出

川端善一郎（愛媛大学農学部）

ハシヒロガモ *Anas clypeata* の摂食生態－嘴の形態と実際の食性－

松原健司（京大生態学研究センター）

1994年12月2日

京都市 京大理学部

参加者：50名

第5回京都国際セミナー

生態学からみた安定社会：里山とその自然の持続的利用

1994年12月9日～11日

京都府京北町 府立ゼミナールハウス

参加者：のべ180名、実60名

公募研究会「日本産野性植物の繁殖様式に関する基礎的研究・性型システムの進化」

代表者 岡崎純子（大阪教育大学）

1994年12月15日～16日

京都市 楽友会館

参加者：のべ74名、実37名

第47回生態研セミナー

植物集団の個体群総計遺伝学的研究－最近の研究動向－

河野昭一（京都大学理学部）

シグナルの進化とハンディキャップ原理

谷内茂雄（京大生態学研究センター）

1994年12月16日

京都市 京大理学部

参加者：30名

公募セミナー & 集中講義「生態学における理論・実証インターフェース」

代表者 東正彦（京都大学）

1994年1月9日～13日

大津市 生態学研究センター

参加者：講師6名、受講者23名

第48回生態研セミナー

熱帯雨林における動物による種子散布

湯本貴和（京大生態学研究センター）

熱帯の徘徊性クモ（*Cupiennius salei*）の後尾行動と振動信号

清水勇（京大生態学研究センター）

1995年1月6日

京都市 京大理学部

参加者：50名

生態研セミナー 特別公演

A comparative ecology of *Acer* species in a temperate forest.

松井淳（京大生態学研究センター）

1995年1月9日
京都市 生態学研究センター
参加者：20名

第9回「大学と科学」シンポジウム 地球共生系 - 多様な生物の共存する仕組み -
1995年1月28日～29日
東京都 有楽町朝日ホール
参加者：のべ1600名、実900名

第50回生態研セミナー
タンガニイカ湖における魚類群集の構造と多種共存、そして左右性の波
堀道雄（京都大学理学部）
敵の敵は敵ではないのか？
松田裕之（九州大学理学部）
1995年2月3日
京都市 京大理学部
参加者：50名

公募研究会「微生物生態学への分子生物学的アプローチ」
代表者 小暮一啓（東京大学）
1995年2月9日～10日
大津市 生態学研究センター
参加者：のべ24名、実12名

第51回生態研セミナー
葉の寿命の地理的分布
菊沢喜八郎（北海道大学林業試験場）
アルカロイドによる防衛レベルは葉齢とともに減少する：理論と2年草での実証
巖佐庸（九州大学理学部）
1995年2月17日
京都市 京大理学部
参加者：63人

第52回生態研セミナー
安定同位体比から見た、カメルーンの熱帯雨林におけるシロアリ生態
陀安一郎（京都市大学生態学研究センター）
エバーグレイズの水循環とエコシステム
杉本敦子（京都市大学生態学研究センター）
1995年2月28日
京都市 京大理学部
参加者：31人

公募研究会「森林群集の更新動態 - 研究の現状と将来展望」
代表者 山本新一（岡山大学）
1995年3月16日

京都市 京大会館

参加者：150名

第53回生態研セミナー

寄生蜂群集に及ぼす競争と捕食の効果

金子修治（京都大学生態学研究センター）

アリと甘露生産性昆虫の共生的関係

市岡孝朗（名古屋大学農学部）

1995年3月17日

京都市 京大理学部

参加者：45名

公募実習「安定同位体実習」

代表者 和田英太郎

随時

大津市 生態学研究センター、京都市 生態学研究センター分室

参加者：受講者4名

あとがき

当センターではこれまで、すべての印刷物を可能なかぎり収録し、多面的な評価を読者に委ねるといった研究機関としては異例の方針で業績目録を編集してきました。第4巻目になる本目録は、3巻までの形式を「著作リスト」として踏襲したうえで、共同研究一覧や講演活動一覧を加えた新しい体裁になっています。これはセンターの多方面にわたっている活動を総合的に一覧するためのものです。

半面、アンケートで要望の声が高かった、一定の基準と評価を加えた「論文リスト」に相当するものをつけるのは、今回は見送ることになりました。したがって従来から指摘されていたような、著作リストの網羅性と選択性は、メンバーの考え方や几帳面さによって大きな差があり、きわめて「あいまいな日本とわたし」になっています。

4年目のセンターの活動の現状を検証し、今後のあり方を議論するうえで、この業績目録なるもの自体も材料として役立てたいと考え、これまで通りあえて「あいまいさ」を統一する努力をしていません。読者の皆さんには引き続き、御批判、御意見をお寄せ下さいますようお願いいたします。

作業は平井留美さんと藤原美紀さんの手を煩わせました。厚くお礼申し上げます。

協力研究員のうち、29名の方に御自身が載せるべきだと判断された目録をお寄せいただきました。どうもありがとうございました。

センターの協力研究員は、センターだけが得をする「片利共生」だという批判があります。しかし、共進化の理論から考えると片利共生は利益を供与する側の負担がきわめて軽微な場合を除いて、相利共生あるいは敵対にすみやかに移行するはずのものです。

今後、協力研究員の具体的なメリットをセンター側で真剣に考えるとともに、その結果としての協力研究員の方々の数とお寄せいただくリストの内容の変動をバロメータにさせていただきたいと存じます。

(編集担当:湯本貴和、杉本敦子)